

# uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 操作ガイド

解説・操作書

3020-3-R02-30

## 対象製品

R-F1524L-112 uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア・Viewer 08-01（適用 OS：Windows XP，Windows Vista，Windows 7）

## 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

## 商標類

AIX は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

AIX 5L は、米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

HP-UX は、Hewlett-Packard Company のオペレーティングシステムの名称です。

Itanium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは、マイクロソフト商品の名称を次のように表記しています。

表記	製品名
Windows 7	Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise
	Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional
	Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate
Windows Vista	Microsoft(R) Windows Vista(R) Business
	Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise
	Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate
Windows XP	Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System
Windows Server 2003	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition

表記	製品名
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition
Windows Server 2008	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise 32-bit
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard 32-bit
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise
	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard

Windows 7 , Windows Vista , Windows XP , Windows Server 2003 , Windows Server 2008 を総称して Windows と表記することがあります。

## 発行

2011 年 11 月 3020-3-R02-30

## 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, 2011, Hitachi Solutions, Ltd.

All Rights Reserved. Copyright (C) 2009, 2011, Hitachi, Ltd.

## 変更内容

変更内容 ( 3020-3-R02-30 ) uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Viewer  
08-01

追加・変更内容	変更箇所
<p>次の製品の適用 OS を追加しました。</p> <p>製品</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Manager</li><li>• uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Agent</li></ul> <p>追加された適用 OS</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• AIX V6.1</li><li>• Red Hat Enterprise Linux 5 ( x86 )</li><li>• Red Hat Enterprise Linux 5 ( AMD/Intel64 )</li><li>• Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform ( x86 )</li><li>• Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform ( AMD/Intel64 )</li><li>• HP-UX 11i V2 ( IPF )</li><li>• HP-UX 11i V3 ( IPF )</li></ul>	全体

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

なお、「はじめに」の記載の一部を「このマニュアルの参考情報」に移動しました。

# はじめに

---

このマニュアルは、uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Viewer の概要および操作方法について説明したものです。なお、このマニュアルでは「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Viewer」を Log Viewer と呼びます。

## 対象読者

BJEX ログビューアを使用して、バッチジョブ実行システム全体の稼働状況やバッチジョブの実行状況を把握し、バッチジョブ実行システムを運用したい方を対象としています。

なお、このマニュアルで説明する BJEX ログビューアとは次の製品を指します。

- uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Manager
- uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Agent
- uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Viewer

## マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

### 第 1 章 概要

BJEX ログビューアの概要、および Log Viewer の機能について説明しています。

### 第 2 章 操作

Log Viewer の操作方法について説明しています。

### 第 3 章 操作に使用する画面

Log Viewer の操作で使用する画面について説明しています。

### 第 4 章 トラブルシューティング

Log Viewer でトラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

### 第 5 章 メッセージ

Log Viewer のメッセージについて説明しています。

### 付録 A 正規表現

Log Viewer の画面で指定できる正規表現の構文、および指定例について説明しています。

### 付録 B このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報について説明しています。

### 付録 C 用語解説

このマニュアルで使用する用語について説明しています。

## 読書手順

このマニュアルは、利用目的に合わせて章を選択して読むことができます。利用目的別にお読

みいただくことをお勧めします。

マニュアルを読む目的	記述箇所
BJEX ログビューアの概要または特長について知りたい	1.1 節
Log Viewer の機能について知りたい	1.2 節
Log Viewer の操作方法について知りたい	2 章
Log Viewer の操作時に使用する画面について知りたい	3 章
Log Viewer でトラブルが発生した場合の対処方法について知りたい	4 章
Log Viewer のメッセージについて知りたい	5 章
Log Viewer の正規表現について知りたい	付録 A
BJEX ログビューアの用語について知りたい	付録 C

## このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用する記号を次に示します。

記号	意味
 ストローク	複数の項目に対し、項目間の区切りを示し、「または」の意味を示します。 (例) 「A   B   C」は、「A, B または C」を示します。
{ } 波括弧	この記号で囲まれている複数の項目の中から、必ず 1 組の項目を選択します。項目の区切りは   で示します。 (例) { A   B   C } は「A, B または C のどれかを指定する」ことを示します。
[ ] 角括弧	この記号で囲まれている項目は任意に指定できます (省略できます)。 複数の項目が記述されている場合には、すべてを省略するか、どれか一つを選択します。 (例) [ A ] は「何も指定しない」か「A を指定する」ことを示します。 [ B   C ] は「何も指定しない」か「B または C を指定する」ことを示します。
<i>斜体</i>	可変の文字列であることを示します。 フォルダパスの一部を <i>斜体</i> で示している場合、使用する環境によってフォルダパスが異なることを示します。 (例) 「Log Viewer のインストール先フォルダ¥trace」は、 「Log Viewer のインストール先フォルダ」の部分可変であることを示します。

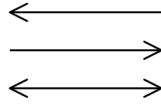
## 図中で使用する記号

このマニュアルの図中で使用する記号を、次のように定義します。

●入出力の動作



●制御の流れ



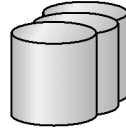
●データの流れ



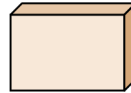
●ファイル



●ファイル(複数)



●プログラム



●工程, 作業項目の流れ







# 目次

<b>1</b>	<b>概要</b>	<b>1</b>
1.1	BJEX ログビューアとは	2
1.2	Log Viewer の機能	4
<b>2</b>	<b>操作</b>	<b>7</b>
2.1	操作の前に	8
2.2	Log Viewer を起動する	10
2.2.1	Log Viewer の起動	10
2.3	Log Manager への接続先情報を登録，変更，削除する	11
2.3.1	接続先情報の登録	11
2.3.2	接続先情報の変更	12
2.3.3	接続先情報の削除	13
2.4	ログを検索する	15
2.4.1	ログの検索	15
2.4.2	検索の中断	17
2.4.3	検索条件を変更して再検索	18
2.4.4	検索条件の確認	18
2.4.5	検索結果の保存	19
2.4.6	検索結果ファイルの参照	19
2.4.7	ログの蓄積範囲の確認	21
2.5	よく使う検索条件を登録，変更，削除する	23
2.5.1	検索条件の登録	23
2.5.2	検索条件の変更	24
2.5.3	検索条件の削除	26
2.6	Log Viewer を終了する	28
2.7	操作時の注意事項	29
<b>3</b>	<b>操作に使用する画面</b>	<b>31</b>
3.1	メイン画面	32
3.2	[ 接続先情報設定 ] 画面	34
3.3	[ 接続先登録 ] 画面	36
3.4	[ 検索条件 ] 画面	37

3.5 [ 認証 ] 画面	40
3.6 検索結果画面	41
3.7 [ 検索条件確認 ] 画面	44
3.8 [ ログ蓄積範囲 ] 画面	45
3.9 [ 検索条件設定 ] 画面	47
3.10 [ 検索条件登録 ] 画面	49

## 4

トラブルシューティング	51
4.1 トラブル発生時の対処の流れ	52
4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法	53

## 5

メッセージ	57
5.1 メッセージの形式	58
5.1.1 メッセージの出力形式	58
5.1.2 メッセージの記載形式	58
5.2 メッセージの出力先一覧	59
5.3 メッセージ一覧	62
5.3.1 KAKI メッセージ	62

## 付録

付録 A 正規表現	85
付録 A.1 正規表現の構文	86
付録 A.2 正規表現の指定例	87
付録 B このマニュアルの参考情報	89
付録 B.1 関連マニュアル	89
付録 B.2 このマニュアルでの表記	89
付録 B.3 英略語	89
付録 C 用語解説	91

## 索引

95

# 1

## 概要

BJEX ログビューアとは、バッチジョブ実行システム全体の実行ログおよび UNIX のシステムログ ( syslog ) のログ情報を一括で管理する製品です。Log Viewer では、ログ情報を検索するための GUI を提供します。

この章では、BJEX ログビューアの概要、および Log Viewer の機能について説明します。

---

1.1 BJEX ログビューアとは

---

1.2 Log Viewer の機能

---

## 1.1 BJEX ログビューアとは

BJEX ログビューアとは、バッチジョブ実行システム全体の実行ログおよび UNIX のシステムログ (syslog) のログ情報を一括で管理し、ログ情報を検索するための GUI を提供する製品です。システム全体の稼働状況やバッチジョブの実行状況の把握を支援します。

BJEX ログビューアの導入によって、システム全体のログ情報を横断的に検索できます。そのため、構成するマシンが複数あるような大規模システムの場合でも、マシンの台数を意識することなく、容易にシステムの状況を把握できます。

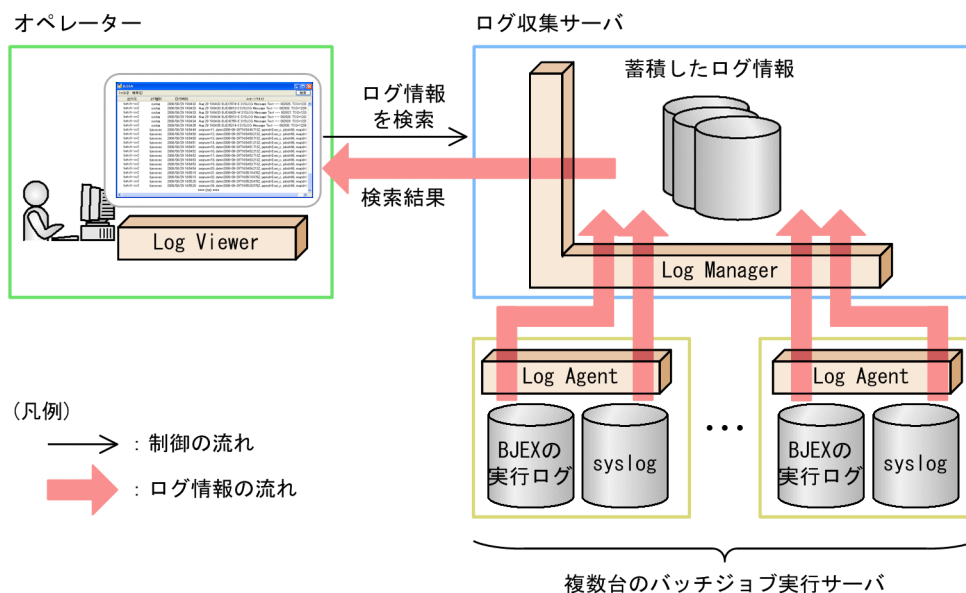
### (1) BJEX ログビューアの全体像

BJEX ログビューアは、バッチジョブ実行サーバの各マシンから収集した BJEX の実行ログおよび UNIX のシステムログ (syslog) をログ収集サーバで一括して管理します。Windows のイベントログは収集対象外です。

オペレーターが GUI 画面で検索を実行すると、ログ収集サーバのログ情報が検索され、検索条件に該当するメッセージが検索結果として表示されます。

BJEX ログビューアの全体像を次の図に示します。

図 1-1 BJEX ログビューアの全体像



BJEX ログビューアは、Log Manager、Log Agent および Log Viewer の三つで構成されます。各プログラムの役割を次に示します。

### Log Manager

ログ収集サーバで、バッチジョブ実行サーバの各マシンから収集されたログ情報を一括で管理するプログラムです。

### Log Agent

バッチジョブ実行システムの各マシンで、BJEX の実行ログおよび UNIX のシステムログ ( syslog ) のログ情報を収集するプログラムです。Log Manager からの要求に応じて、ログ情報をログ収集サーバに転送します。

### Log Viewer

ログ情報を検索するための GUI を提供するプログラムです。

## (2) BJEX ログビューアの特長

BJEX ログビューアの特長を次に示します。

- ログ情報の一括管理によって情報収集の負荷を軽減  
バッチジョブ実行サーバの各マシンに Log Agent を配置しておけば、各マシンのログ情報はログ収集サーバで一括して管理されます。そのため、システムが大規模の場合も、各マシンから手作業でログを収集する手間が不要になり、情報収集の負荷を軽減できます。
- 検索条件の指定によって必要なログ情報だけを取得可能  
Log Viewer の提供する検索画面では、ログ情報を出力したマシン、ログ情報の出力時刻、メッセージテキストなどの検索条件を指定できます。また、指定には正規表現を使用できます。  
そのため、大量にあるログ情報から必要な情報だけを選んで参照できます。

また、BJEX ログビューアは次のような場面で利用できます。

#### 例 1 システムの稼働状況を把握

複数台のマシンで構成されるシステムにトラブルが発生したとき、システム全体のマシンを対象にエラーを検索することで、エラーの発生個所を特定できます。各マシンでログを参照する手間が不要のため、エラーの原因の特定に掛かる手間を減らすことができ、トラブルに迅速に対応できるようになります。

#### 例 2 バッチジョブの実行状況を確認

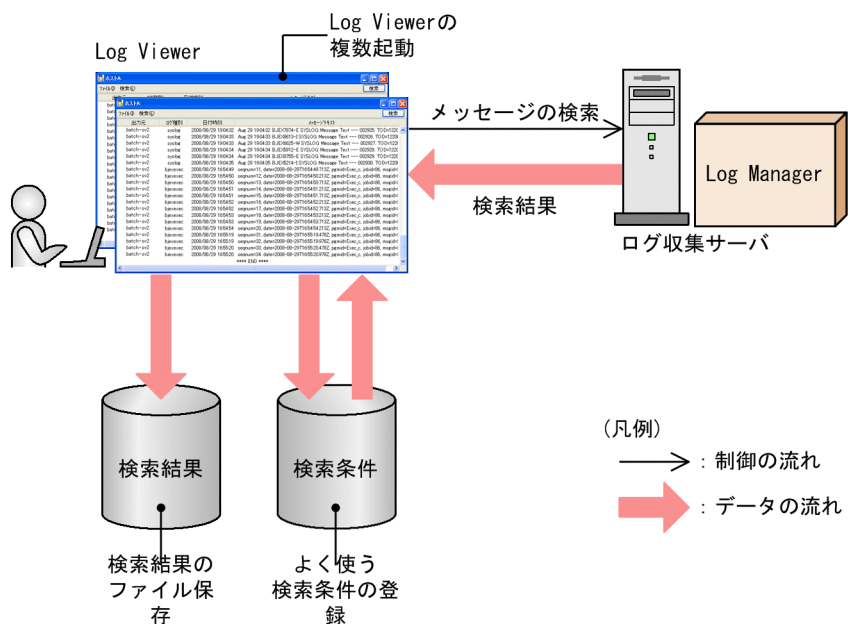
BJEX の実行ログには、バッチジョブの実行状況を示すメッセージが出力されます。そのため、GUI 画面を使用して BJEX の実行ログのメッセージを検索することで、バッチジョブの実行状況を確認できます。

例えば、バッチジョブの実行結果を通知するメッセージ ID をキーに検索すれば、バッチジョブによる処理が正常に完了したかどうかを確認できます。

## 1.2 Log Viewer の機能

Log Viewer の機能について説明します。Log Viewer の機能の概要を次の図に示します。

図 1-2 Log Viewer の機能



### ログに出力されたメッセージの検索

ログを出力したマシン、メッセージの発生時刻、メッセージの内容などを検索条件に指定して、メッセージを検索できます。また、検索条件に、ログの出力元であるマシンの名前、メッセージ ID またはメッセージテキストを指定するときは、正規表現を用いることができます。

例えば、「2008年9月1日12:00:00～2008年9月7日11:59:59に出力された、『Err』を含むメッセージ」のように検索条件を組み合わせることで、特定の時間に出力されている、特定の文字列を含んでいるなど、状況に合わせた検索ができます。

また、「Log Manager でいつからいつまでのログを蓄積しているのか」を知りたい場合は、検索結果の画面で操作すると確認できます。

ログを検索する操作については、「2.4 ログを検索する」を参照してください。メッセージ ID およびメッセージテキストに指定できる正規表現については、「付録 A 正規表現」を参照してください。

### 検索結果のファイル保存

ログを検索した結果は画面に表示されますが、検索結果を記録しておきたい場合はファイルに保存できます。

検索結果をファイルに保存すると、ファイルには検索結果以外に、検索を実行した年

月日・時刻，接続した Log Manager のホスト名，検索条件なども記録されます。検索結果をファイルに保存する操作については，「2.4.5 検索結果の保存」を参照してください。

#### よく使う検索条件の登録

ログを検索するとき画面で検索条件を入力しますが，よく使う検索条件はあらかじめ名前を付けて登録しておくことができます。あらかじめ登録しておくことで，画面では検索条件の名前を選ぶだけで，検索条件が設定されます。

同じ条件で定期的に検索する場合や，複雑な正規表現を記述しなければならない場合などには，あらかじめ検索条件を登録しておくことで，効率的にログを検索できます。よく使う検索条件を登録する操作については，「2.5 よく使う検索条件を登録，変更，削除する」を参照してください。

#### Log Viewer の複数起動

複数の画面で同時に検索を実行する場合は，1 ユーザー当たり 10 まで Log Viewer を起動できます。





# 2

## 操作

この章では、Log Viewer の操作方法について説明します。

---

2.1 操作の前に

---

2.2 Log Viewer を起動する

---

2.3 Log Manager への接続先情報を登録、変更、削除する

---

2.4 ログを検索する

---

2.5 よく使う検索条件を登録、変更、削除する

---

2.6 Log Viewer を終了する

---

2.7 操作時の注意事項

---

## 2.1 操作の前に

---

Log Viewer の操作の流れ，および操作一覧について説明します。

### (1) Log Viewer の操作の流れ

Log Viewer の主な操作の流れを次の図に示します。

図 2-1 Log Viewer の主な操作の流れ



図 2-1 に示した操作以外に，よく使う検索条件を登録したり，Log Manager でのログの蓄積範囲を確認したりできます。Log Viewer でできる操作の一覧は，「(2) Log Viewer の操作一覧」を参照してください。

Log Viewer 操作時の注意事項については，「2.7 操作時の注意事項」を参照してください。

Log Viewer のインストールおよび環境設定については，マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。

## (2) Log Viewer の操作一覧

Log Viewer の操作一覧を次の表に示します。

表 2-1 Log Viewer の操作一覧

分類	操作	参照箇所
Log Viewer を起動する		2.2.1
Log Manager への接続先情報を登録, 変更, 削除する	接続先情報の登録	2.3.1
	接続先情報の変更	2.3.2
	接続先情報の削除	2.3.3
ログを検索する	ログの検索	2.4.1
	検索の中断	2.4.2
	検索条件を変更して再検索	2.4.3
	検索条件の確認	2.4.4
	検索結果の保存	2.4.5
	検索結果ファイルの参照	2.4.6
	ログの蓄積範囲の確認	2.4.7
よく使う検索条件を登録, 変更, 削除する	検索条件の登録	2.5.1
	検索条件の変更	2.5.2
	検索条件の削除	2.5.3
Log Viewer を終了する		2.6

## 2.2 Log Viewer を起動する

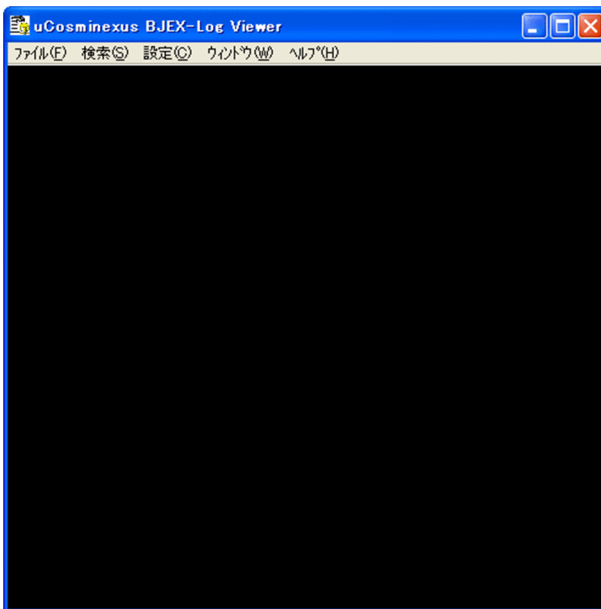
---

Log Viewer を起動する手順について説明します。

### 2.2.1 Log Viewer の起動

Log Viewer を起動するには、[ スタート ] メニューから、[ すべてのプログラム ] - [ BJEX Log Viewer ] - [ BJEX Log Viewer ] を選択します。

メイン画面が表示されます。



画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
メイン画面	3.1

## 2.3 Log Manager への接続先情報を登録，変更，削除する

ログの検索では，接続する Log Manager の情報を選択してから，検索を実行します。検索の前に，接続する Log Manager の情報を接続先情報として登録します。接続先情報には次に示す項目を設定します。

- 接続する Log Manager のホスト名
- 接続に使用する Log Manager のポート番号


ログの検索を実行する前に，必ず接続先情報を登録してください。

Log Manager への接続先情報を登録，変更，削除する手順について説明します。

### 2.3.1 接続先情報の登録

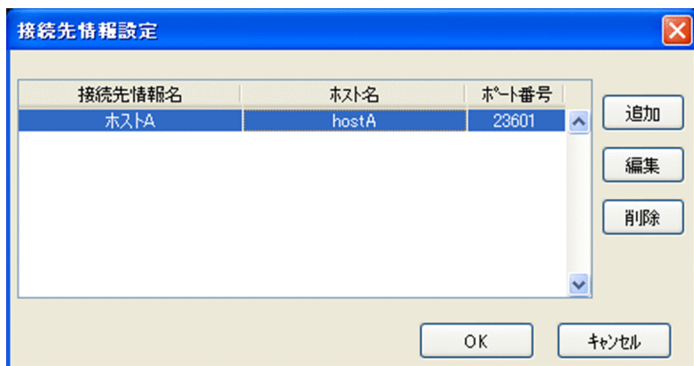
Log Manager への接続先情報の登録手順について説明します。

1. メイン画面のメニューから [ 設定 ] - [ 接続先情報登録 ] を選択します。  
[ 接続先情報設定 ] 画面が表示されます。
2. [ 追加 ] ボタンをクリックします。  
[ 接続先登録 ] 画面が表示されます。
3. [ 接続先情報名 ] テキストボックスに，接続先情報名を入力します。この項目の指定は必須です。
4. [ ホスト名 ] テキストボックスに，Log Manager がインストールされているマシンのホスト名を入力します。
5. [ ポート番号 ] テキストボックスに，Log Manager との接続に使用するポート番号を入力します。  
手順 3 ~ 手順 5 で内容を入力した [ 接続先登録 ] 画面の例を次に示します。



6. [ 登録 ] ボタンをクリックします。  
[ 接続先情報設定 ] 画面に戻ります。接続先情報一覧に接続先情報が追加されます。接続先情報が追加された [ 接続先情報設定 ] 画面の例を次に示します。

## 2. 操作



7. [OK] ボタンをクリックします。

接続先情報として設定した内容が登録されて、メイン画面に戻ります。

画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
メイン画面	3.1
[ 接続先情報設定 ] 画面	3.2
[ 接続先登録 ] 画面	3.3

### 2.3.2 接続先情報の変更

登録済みの Log Manager への接続先情報の変更手順について説明します。

1. メイン画面のメニューから [ 設定 ] - [ 接続先情報登録 ] を選択します。  
[ 接続先情報設定 ] 画面が表示されます。
2. 変更する接続先情報を選択します。
3. [ 編集 ] ボタンをクリックします。  
選択した接続先情報が表示された [ 接続先登録 ] 画面が表示されます。
4. Log Manager がインストールされているマシンのホスト名を変更する場合は、[ ホスト名 ] テキストボックスの値を変更します。  
なお、接続先情報は変更できません。
5. Log Manager との接続に使用するポート番号を変更する場合は、[ ポート番号 ] テキストボックスの値を変更します。  
手順 4、手順 5 で内容を変更した [ 接続先登録 ] 画面の例を次に示します。

6. [登録] ボタンをクリックします。

[接続先情報設定] 画面に戻ります。接続先情報一覧で、接続先情報に変更されていることを確認します。

登録済みのホスト名と同じ名称を指定した場合、KAKI408-W メッセージが出力されます。同じ名前で登録する場合は [了解] ボタン、登録をキャンセルする場合は [取消し] ボタンをクリックしてください。

接続先情報に変更された [接続先情報設定] 画面の例を次に示します。

7. [OK] ボタンをクリックします。

接続先情報として設定した内容が登録されて、メイン画面に戻ります。

画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
メイン画面	3.1
[接続先情報設定] 画面	3.2
[接続先登録] 画面	3.3

### 2.3.3 接続先情報の削除

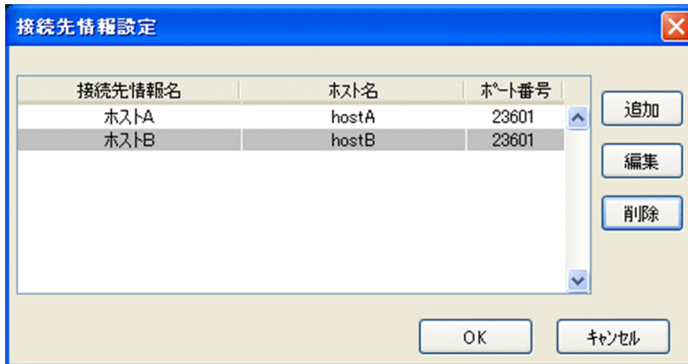
登録済みの Log Manager への接続先情報の削除手順について説明します。

1. メイン画面のメニューから [設定] - [接続先情報登録] を選択します。  
[接続先情報設定] 画面が表示されます。

## 2. 操作

### 2. 削除する接続先情報を選択します。

接続先情報を選択した [ 接続先情報設定 ] 画面の例を次に示します。



### 3. [ 削除 ] ボタンをクリックします。

接続先情報一覧から、選択した接続先情報が削除されます。

### 4. [ OK ] ボタンをクリックします。

接続先情報が削除されて、メイン画面に戻ります。

#### 画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
メイン画面	3.1
[ 接続先情報設定 ] 画面	3.2



## 2.4 ログを検索する

---

Log Manager に蓄積されているログから、検索条件を指定してログを検索できます。なお、ログの検索を実行する前に Log Manager への接続先情報を登録してください。

ログを検索する手順について説明します。

### 2.4.1 ログの検索

ログの検索手順について説明します。

1. メイン画面のメニューから [ 検索 ] - [ 新規検索 ] を選択します。  
[ 検索条件 ] 画面が表示されます。
2. [ 接続先 ] プルダウンメニューから接続先情報名を選択します。  
接続先とする Log Manager の情報が登録された接続先情報名を選択します。
3. [ 検索開始 ] テキストボックスに、検索範囲の開始年月日および時刻を入力します。
4. [ 検索終了 ] テキストボックスに、検索範囲の終了年月日および時刻を入力します。
5. 登録した検索条件を使用する場合は、[ 検索条件名 ] プルダウンメニューから検索条件名を選択します。
6. ログの出力元のマシンを検索条件にする場合は、[ 出力元 ] テキストボックスにログを出力したマシンのホスト名を入力します。
7. 検索対象のログ種別を指定します。この項目の指定は必須です。
  - BJEX の実行ログを検索する場合  
[ bjexexec ] チェックボックスをチェックします。
  - syslog を検索する場合  
[ syslog ] チェックボックスをチェックします。

BJEX の実行ログと syslog を同時に検索する場合は、[ bjexexec ] チェックボックスおよび [ syslog ] チェックボックスを、両方ともチェックしてください。

ただし、検索対象の出力元マシンの OS が Windows の場合は、[ syslog ] チェックボックスの指定は無視されます。

8. 手順 7 で [ bjexexec ] チェックボックスをチェックした場合は、メッセージ ID を検索条件にできます。メッセージ ID を検索条件にする場合は、[ メッセージ ID ] テキストボックスにメッセージ ID を入力します。
9. メッセージテキストを検索条件にする場合は、[ メッセージテキスト ] テキストボックスにメッセージテキストを入力します。  
手順 2 ~ 手順 9 で内容を指定した [ 検索条件 ] 画面の例を次に示します。

## 2. 操作

検索条件

接続先: ホストA

検索条件

検索開始: 2008 / 11 / 5 15 : 29 : 28

検索終了: 2008 / 11 / 5 16 : 29 : 28

検索条件名: [dropdown]

出力元: batch-sv2

ログ種別

bjexec  
メッセージID: KAKC.\*

syslog

メッセージテキスト: \*.error.\*|\*Error.\*|\*ERROR\*

OK キャンセル

指定したすべての検索条件を満たすメッセージが検索されます (AND 検索で検索されます)。

10.[ OK ] ボタンをクリックします。

[ 認証 ] 画面が表示されます。

11.[ ユーザ ID ] テキストボックスに、Log Manager がインストールされているマシンに登録されているユーザー ID を入力します。

12.[ パスワード ] テキストボックスに、手順 11 で入力したユーザー ID に対応するパスワードを入力します。

認証

接続先: ホストA

ユーザID: user01

パスワード: \*\*\*\*\*

OK キャンセル

13.[ OK ] ボタンをクリックします。

ログの検索が開始されます。

検索を開始すると、検索結果画面へのメッセージの表示が始まります。検索が完了すると、検索結果の最後に「\*\*\*\* END \*\*\*\*」と表示され、メッセージの表示が終わります。

検索結果には、次のメッセージが表示されます。

- B/JEX の実行ログのメッセージの場合  
検索範囲、出力元、メッセージ ID およびメッセージテキストの条件と一致したメッセージ
- syslog のメッセージの場合

検索範囲、出力元、およびメッセージテキストの条件と一致したメッセージ（メッセージ ID は検索条件になりません）

検索完了時の検索結果画面の例を次に示します。

出力元	日時	メッセージ
batch-sv2	2008/11/05 20:27:34	Nov 5 20:27:34 batch-sv2 usererr[B.JE]LogManager[843794] KAKG210-E incomplete user authenticat...
batch-sv2	2008/11/05 20:30:39	Nov 5 20:30:39 batch-sv2 usererr[B.JE]LogManager[905272] KAKG201-E cannot access index file. (log...
batch-sv2	2008/11/05 20:30:39	Nov 5 20:30:39 batch-sv2 usererr[B.JE]LogManager[905272] KAKG204-E fail in search syslog log mes...
batch-sv2	2008/11/06 14:40:01	segnum=1931, date=2008-11-06T14:40:01.260+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:40:01	segnum=1932, date=2008-11-06T14:40:01.989+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:41:35	segnum=1939, date=2008-11-06T14:41:35.119+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:41:36	segnum=1940, date=2008-11-06T14:41:36.034+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:42:35	segnum=1947, date=2008-11-06T14:42:35.492+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:42:35	segnum=1948, date=2008-11-06T14:42:36.239+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:44:51	segnum=1955, date=2008-11-06T14:44:51.749+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:44:52	segnum=1956, date=2008-11-06T14:44:52.477+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:51:16	segnum=1963, date=2008-11-06T14:51:16.503+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:51:17	segnum=1964, date=2008-11-06T14:51:17.008+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:54:02	segnum=1971, date=2008-11-06T14:54:02.540+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:54:33	segnum=1972, date=2008-11-06T14:54:33.472+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:57:45	segnum=1979, date=2008-11-06T14:57:45.816+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:57:46	segnum=1980, date=2008-11-06T14:57:46.742+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:58:12	segnum=1987, date=2008-11-06T14:58:12.239+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 14:58:13	segnum=1988, date=2008-11-06T14:58:13.344+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 15:09:25	segnum=1995, date=2008-11-06T15:09:25.457+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 15:09:26	segnum=1996, date=2008-11-06T15:09:26.561+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...
batch-sv2	2008/11/06 15:14:20	segnum=2003, date=2008-11-06T15:14:20.514+09:00, pemsid=Pd_d, jobid=0, pid=794744, msgid=KAKC3251-1, m...

検索結果画面の見方については、「3.6 検索結果画面」を参照してください。

#### 画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

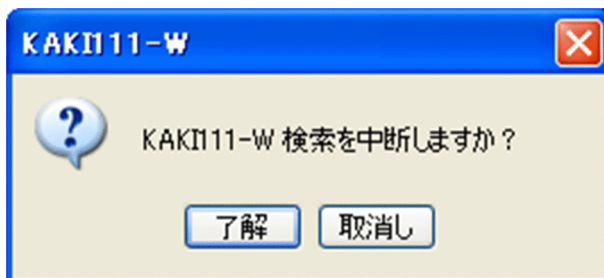
画面名	参照箇所
メイン画面	3.1
[ 検索条件 ] 画面	3.4
[ 認証 ] 画面	3.5
検索結果画面	3.6

### 2.4.2 検索の中断

ログ検索の中断手順について説明します。検索中の検索結果画面が表示されている状態とします。

1. 検索中の検索結果画面で、[ 中断 ] ボタンをクリックします。

検索の中断を確認するダイアログが表示されます。



2. [ 了解 ] ボタンをクリックします。

## 2. 操作

検索が中断されます。

検索を中断しない場合は [ 取消し ] ボタンをクリックしてください。

画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
検索結果画面	3.6

### 2.4.3 検索条件を変更して再検索

検索条件の変更後の再検索手順について説明します。検索が完了した検索結果画面が表示されている状態とします。

1. 目的に応じて、メイン画面または検索結果画面で、次の操作を実行します。
  - 検索結果画面を別の画面に表示したい場合  
メイン画面のメニューから [ 検索 ] - [ 新規検索 ] を選択します。
  - すでに表示されている検索結果画面に、検索結果を上書きして表示したい場合  
上書きする検索結果画面を選択したあと、その画面で、[ 検索 ] ボタンをクリックするか、メニューから [ 検索 ] - [ 検索 ] を選択します。

[ 検索条件 ] 画面が表示されます。

2. 検索条件を変更します。
3. [ OK ] ボタンをクリックします。

[ 認証 ] 画面が表示されます。

以降の手順については、「2.4.1 ログの検索」の手順 10 以降と同様です。

画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
メイン画面	3.1
[ 検索条件 ] 画面	3.4
[ 認証 ] 画面	3.5
検索結果画面	3.6

### 2.4.4 検索条件の確認

検索条件の確認手順について説明します。検索が完了した検索結果画面が表示されている状態とします。

1. 検索完了後の検索結果画面で、メニューから [ 検索 ] - [ 条件確認 ] を選択します。  
[ 検索条件確認 ] 画面が表示されます。なお、この画面では、検索を再実行したり、検索条件を変更したりできません。

2. 検索条件を確認します。
3. [ OK ] ボタンをクリックします。  
[ 検索条件確認 ] 画面が閉じて、検索結果画面に戻ります。

画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
検索結果画面	3.6
[ 検索条件確認 ] 画面	3.7

## 2.4.5 検索結果の保存

検索条件の保存手順について説明します。検索が完了した検索結果画面が表示されている状態とします。

1. 検索結果画面のメニューから [ ファイル ] - [ 保存 ] を選択します。  
ファイルの保存先を選択するダイアログが表示されます。
2. 保存先およびファイル名を指定して、[ 保存 ] ボタンをクリックします。  
検索結果がファイルに保存されます。ファイルの文字コードは、標準では UTF-8 です。  
検索結果ファイルの見方については、「2.4.6 検索結果ファイルの参照」を参照してください。  
検索結果画面の詳細は、「3.6 検索結果画面」を参照してください。

## 2.4.6 検索結果ファイルの参照

検索結果を保存したファイル（検索結果ファイル）の見方について説明します。

## 2. 操作

検索結果ファイルの例を次の図に示します。なお、該当する項目がない場合は、値が空欄になります。

図 2-2 検索結果ファイルの例

[Search Date]	:20081116180000 ●	1.	
[Hostname]	:ホスト A ●	2.	
[Searched Range]	:20081105152938-20081106162938 ●	3.	
[Search Host]	:bach-sv2 ●	4.	
[Log Type]	:bjexec syslog ●	5.	
[Message ID]	:KAKC.* ●	6.	
[Message Text]	:.*error.* . *Error.* . *ERROR.* ●	7.	
-----			
batch-sv2△syslog△2008/11/05 21:39:53△Nov 5 21:39:53 batch-sv2 user:err...			} 8.
batch-sv2△syslog△2008/11/05 21:40:22△Nov 5 21:40:22 batch-sv2 user:err...			
batch-sv2△syslog△2008/11/05 21:40:43△Nov 5 21:40:43 batch-sv2 user:err...			
batch-sv2△syslog△2008/11/06 11:49:28△Nov 6 11:49:28 batch-sv2 daemon:err...			
batch-sv2△syslog△2008/11/06 11:49:28△Nov 6 11:49:28 batch-sv2 daemon:err...			
batch-sv2△bjexec△2008/11/06 11:52:33△seqnum=8, ...msgid=KAKC0101-E, msg=...			
batch-sv2△bjexec△2008/11/06 11:52:34△seqnum=15, ...msgid=KAKC3251-I, msg=...			
batch-sv2△bjexec△2008/11/06 11:52:35△seqnum=8, ...msgid=KAKC0101-E, msg=...			
batch-sv2△bjexec△2008/11/06 11:52:35△seqnum=15, ...msgid=KAKC3251-I, msg=...			
batch-sv2△bjexec△2008/11/06 11:52:35△seqnum=8, ...msgid=KAKC0101-E, msg=...			

(凡例) △ : タブ文字

図 2-2 の 1. ~ 8. で示す項目および内容について説明します。

1. [ Search Date ]  
検索を実行した年月日および時刻が「yyyy/mm/dd/HH/MM/SS」の形式で出力されます。yyyy は西暦年、mm は月、dd は日、HH は時、MM は分、SS は秒を示します。
2. [ Hostname ]  
検索時に選択した接続先情報名が出力されます。
3. [ Searched Range ]  
[ 検索条件 ] 画面で [ 検索開始 ] および [ 検索終了 ] に指定した値が「yyyymmddHHMMSS - yyyymmddHHMMSS」の形式で出力されます。yyyy は西暦年、mm は月、dd は日、HH は時、MM は分、SS は秒を示します。
4. [ Search Host ]  
検索条件の出力元に指定したマシンのホスト名が出力されます。
5. [ Log Type ]  
検索条件に指定したログ種別が出力されます。
6. [ Message ID ]  
検索条件に指定したメッセージ ID が出力されます。
7. [ Message Text ]  
検索条件に指定したメッセージテキストが出力されます。
8. 検索結果

検索結果画面に表示された内容が次の形式で出力されます。項目ごとにタブ文字で区切って出力されます。

出力元	ログ種別	日付時刻	メッセージテキスト
-----	------	------	-----------

(凡例) : タブ文字  
各項目の説明を次に示します。

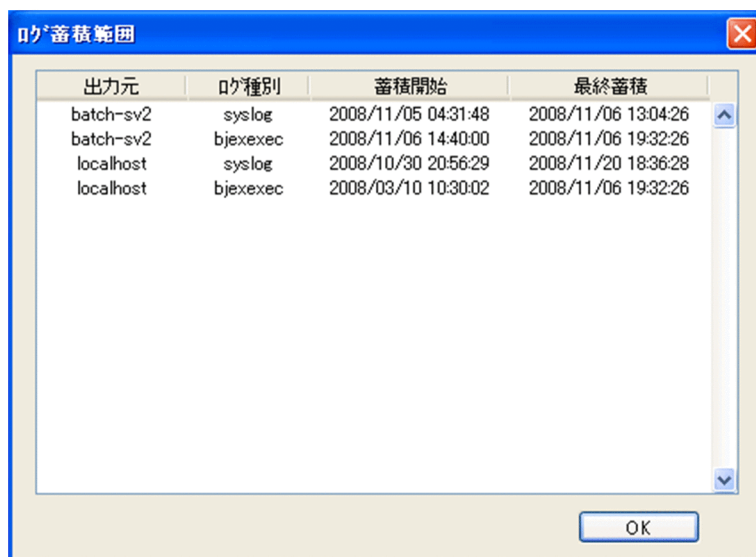
出力項目	説明
出力元	検索結果画面の [ 出力元 ] 列の内容が出力されます。
ログ種別	検索結果画面の [ ログ種別 ] 列の内容が出力されます。
日付時刻	検索結果画面の [ 日付時刻 ] 列の内容が出力されます。
メッセージテキスト	検索結果画面の [ メッセージテキスト ] 列の内容が出力されます。

検索結果画面の詳細は、「3.6 検索結果画面」を参照してください。

## 2.4.7 ログの蓄積範囲の確認

Log Manager に、いつからいつまでのログが蓄積されているのか確認する手順について説明します。検索が完了した検索結果画面が表示されている状態とします。

1. 検索結果画面のメニューから [ 検索 ] - [ 蓄積範囲確認 ] を選択します。  
[ ログ蓄積範囲 ] 画面が表示されます。



2. ログの蓄積範囲を確認します。
3. [ OK ] ボタンをクリックします。  
[ ログ蓄積範囲 ] 画面が閉じて、検索結果画面に戻ります。

## 2. 操作

### 画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
検索結果画面	3.6
[ ログ蓄積範囲 ] 画面	3.8



## 2.5 よく使う検索条件を登録，変更，削除する

よく使う検索条件は，名前を付けて登録しておきます。ログの検索時に登録した検索条件を選択することで，検索条件を入力する手間が省けます。同じ条件の検索を頻繁に実行する場合や，複雑な正規表現を用いた検索を実行する場合などには，あらかじめ検索条件を登録しておくことをお勧めします。

[ 検索条件 ] 画面で検索条件を設定するときに，登録済みの検索条件を使用することで，効率よく検索できます。

Log Viewer でよく使う検索条件を登録，変更，削除する手順について説明します。

### 2.5.1 検索条件の登録

検索条件の登録手順について説明します。

1. メイン画面のメニューから [ 設定 ] - [ 検索条件登録 ] を選択します。  
[ 検索条件設定 ] 画面が表示されます。
2. [ 追加 ] ボタンをクリックします。  
[ 検索条件登録 ] 画面が表示されます。
3. [ 検索条件名 ] テキストボックスに，検索条件名を入力します。この項目の指定は必須です。
4. ログの出力元のマシンを検索条件にする場合は，[ 出力元 ] テキストボックスにログを出力したマシンのホスト名を入力します。
5. 検索対象のログ種別を指定します。この項目の指定は必須です。
  - BJEX の実行ログを検索する場合  
[ bjexexec ] チェックボックスをチェックします。
  - syslog を検索する場合  
[ syslog ] チェックボックスをチェックします。

BJEX の実行ログと syslog を同時に検索する場合は，[ bjexexec ] チェックボックスおよび [ syslog ] チェックボックスを，両方ともチェックしてください。

ただし，検索対象の出力元マシンの OS が Windows の場合は，[ syslog ] チェックボックスの指定は無視されます。

6. 手順 5 で [ bjexexec ] チェックボックスをチェックした場合は，メッセージ ID を検索条件にできます。メッセージ ID を検索条件にする場合は，[ メッセージ ID ] テキストボックスにメッセージ ID を入力します。
7. メッセージテキストを検索条件にする場合は，[ メッセージテキスト ] テキストボックスにメッセージテキストを入力します。  
手順 3 ~ 手順 7 で内容を指定した [ 検索条件登録 ] 画面の例を次に示します。

## 2. 操作

検索条件登録

検索条件名 エラー検索

出力元 batch-sv.\*

ログ種別  bjexec  
メッセージID KAKC.\*  
 syslog

メッセージテキスト \*error.\*|\*Error.\*|\*ERROR\*

登録 キャンセル

8. [登録] ボタンをクリックします。  
[検索条件設定] 画面に戻ります。検索条件一覧に検索条件が追加されます。  
検索条件が追加された [検索条件設定] 画面の例を次に示します。

検索条件設定

検索条件名	出力元	ログ種別	メッセージID	メッセージテキスト
エラー検索	batch-s...	bjexec syslog	KAKC.*	*error.* *Error...

追加  
編集  
削除

OK キャンセル

9. [OK] ボタンをクリックします。  
検索条件として設定した内容が登録されて、メイン画面に戻ります。

### 画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
メイン画面	3.1
[検索条件設定] 画面	3.9
[検索条件登録] 画面	3.10

## 2.5.2 検索条件の変更

登録済みの検索条件の変更手順について説明します。

1. メイン画面のメニューから [設定] - [検索条件登録] を選択します。  
[検索条件設定] 画面が表示されます。

2. 変更する検索条件を選択します。
3. [編集] ボタンをクリックします。  
選択した検索条件が表示された [検索条件登録] 画面が表示されます。
4. ログの出力元のマシンを変更する場合は, [出力元] テキストボックスの値を変更します。  
なお, 検索条件名は変更できません。

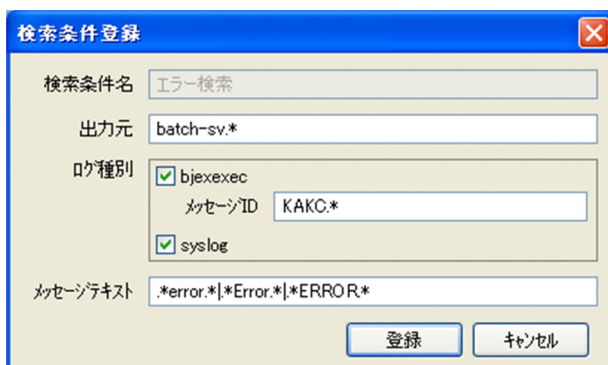
5. 検索対象のログ種別を変更する場合は, [ログ種別] のチェックボックスの指定内容を変更します。

- BJEX の実行ログを検索する場合  
[bjexexec] チェックボックスをチェックします。
- syslog を検索する場合  
[syslog] チェックボックスをチェックします。

BJEX の実行ログと syslog を同時に検索する場合は, [bjexexec] チェックボックスおよび [syslog] チェックボックスを, 両方ともチェックしてください。

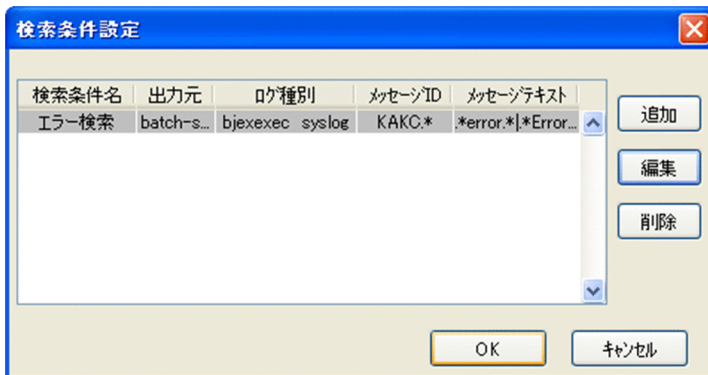
ただし, 検索対象の出力元マシンの OS が Windows の場合は, [syslog] チェックボックスの指定は無視されます。

6. 手順 5 で [bjexexec] チェックボックスをチェックした場合は, メッセージ ID を検索条件にできます。メッセージ ID を変更する場合は, [メッセージ ID] テキストボックスの値を変更します。
7. メッセージテキストを変更する場合は, [メッセージテキスト] テキストボックスの値を変更します。  
手順 4 ~ 手順 7 で内容を変更した [検索条件登録] 画面の例を次に示します。



8. [登録] ボタンをクリックします。  
[検索条件設定] 画面に戻ります。検索条件一覧で, 検索条件が変更されていることを確認します。

## 2. 操作



9. [ OK ] ボタンをクリックします。

検索条件として設定した内容が登録されて、メイン画面に戻ります。

画面の参照箇所

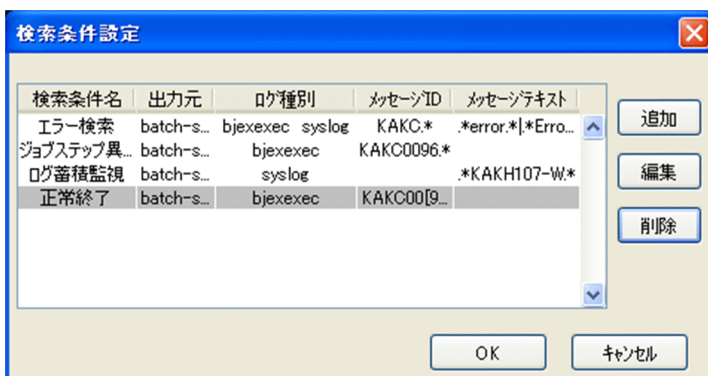
画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
メイン画面	3.1
[ 検索条件設定 ] 画面	3.9
[ 検索条件登録 ] 画面	3.10

### 2.5.3 検索条件の削除

登録済みの検索条件の削除手順について説明します。

1. メイン画面のメニューから [ 設定 ] - [ 検索条件登録 ] を選択します。  
[ 検索条件設定 ] 画面が表示されます。
2. 削除する検索条件を選択します。  
検索条件を選択した [ 検索条件設定 ] 画面の例を次に示します。



3. [削除] ボタンをクリックします。  
検索条件一覧から、選択した検索条件が削除されます。
4. [OK] ボタンをクリックします。  
検索条件が削除されて、メイン画面に戻ります。

#### 画面の参照箇所

画面の詳細については、次の表に示す箇所を参照してください。

画面名	参照箇所
メイン画面	3.1
[ 検索条件設定 ] 画面	3.9

## 2.6 Log Viewer を終了する

---

Log Viewer を終了するには、メイン画面のメニューから [ファイル] - [終了] を選択してください。登録した接続先情報と検索条件が保存されて、Log Viewer の画面が閉じます。

## 2.7 操作時の注意事項

Log Viewer 操作時の注意事項について次の表に示します。

表 2-2 Log Viewer 操作時の注意事項

大分類	小分類	注意事項
Log Viewer の起動	Log Viewer の複数起動	1 台の PC で、同時に 10 プロセスまで Log Viewer を起動できません。 なお、リモートターミナル機能などを使用して Log Viewer を起動した場合も起動数にカウントされます。
Log Viewer の画面	画面のスタイルまたはテーマ	Log Viewer の起動中は、画面のスタイルやテーマを変更しないでください。Log Viewer の起動中に画面のスタイルやテーマを変更した場合は、Log Viewer を再起動してください。 画面のスタイルや DPI を変更すると、Log Viewer の画面の表示が不正になることがあります。このときは、変更した設定を元の状態に戻してください。
Log Manager との接続	Log Manager との接続	1 台の Log Manager に対して、Log Viewer は同時に 16 まで接続できます。 Log Manager への Log Viewer の接続数が 16 を超えると、検索開始時に Log Manager との接続で KAKI112-E メッセージが出力され、検索できません。
Log Manager への接続先情報の登録	接続先情報の登録	ログを検索する前に、必ず接続先情報を登録してください。
	接続先情報の登録数	登録できる接続先情報の数の上限は 255 です。 256 個目を登録しようとするとき、KAKI409-E メッセージが出力され、エラーになります。
	接続先情報名	接続先情報名にはユニークな名称を指定してください。
	ホスト名の文字数	ホスト名に指定する文字の数の上限は 255 文字です。 ネットワーク内で識別できる、255 文字以内の名称を指定してください。
ログの検索	ユーザー認証	ログの検索時、Log Manager に対するユーザー認証は、同一の Log Manager に対して 1 回だけ実施します。 そのため、同一の Log Manager に接続する 2 回目以降の検索ではユーザー認証は要求されません。 ただし、同一の Log Manager に接続する検索でも、通信が切断されたときは、再接続時にユーザー認証が要求されます。
	ユーザー ID とパスワード	ユーザー認証時に使用するユーザー ID について、パスワードが設定されていないユーザー ID は使用できません。
	ログの検索日時の指定	[ 検索条件 ] 画面の [ 検索開始 ] および [ 検索終了 ] に指定する日時の範囲は、なるべく 1 日以内になるようにしてください。 日時の範囲を広くすると、Log Manager で検索処理が完了するまでに時間が掛かります。

## 2. 操作

大分類	小分類	注意事項
	ログ種別の指定	BJEX の実行ログまたは syslog を個別に検索できます。 BJEX の実行ログと syslog を同時に検索する場合は、[ bjexec ] チェックボックスおよび [ syslog ] チェックボックスを、両方ともチェックしてください。ただし、検索対象の出力元マシンの OS が Windows の場合は、[ syslog ] チェックボックスの指定は無視されます。
	メッセージ ID の指定	[ bjexec ] チェックボックスをチェックした場合、検索条件にメッセージ ID を指定できます。 メッセージ ID の指定方法については、「付録 A 正規表現」を参照してください。
	Log Manager からの検索結果の返信	ログを検索する際のユーザー認証で Log Manager からの返信が 5 分間ないと、KAKI113-E メッセージが表示され、エラーになります。 また、ユーザー認証の完了後、ログの検索中は、Log Manager からの返信が 3 分間ないと、KAKI113-E メッセージが表示され、エラーになります。 このときの対処については、「5.3.1 KAKI メッセージ」を参照してください。
	ログの検索の上限	ログの検索で、検索結果に表示されるメッセージ数の上限は 50,000 行です。 検索条件に一致するメッセージが 50,000 行を超えると、50,000 行までが表示されて、検索処理が打ち切られます。50,001 行目以降のメッセージは表示されません。 メッセージの件数が多く、目的の検索結果が得られない場合は、検索結果が 50,000 行以内となるように、検索条件を見直して、再度検索してください。
	複数の検索結果画面の表示	検索結果画面は、同時に 32 まで表示できます。 ただし、多量のメッセージが表示された検索結果画面を複数開くとメモリが使用されるため、Log Viewer の動作が遅くなる場合があります。 多量のメッセージが表示された検索画面を表示している場合に別の検索を実行したいときは、検索結果をファイルに保存し、検索結果画面を閉じたあと、再度検索することを推奨します。
検索条件の登録	検索条件の登録数	登録できる検索条件の数の上限は 4,096 です。
	検索条件名	検索条件名にはユニークな名称を指定してください。



# 3

## 操作に使用する画面

この章では、Log Viewer の操作に使用する画面について説明します。

- 
- 3.1 メイン画面

---

  - 3.2 [ 接続先情報設定 ] 画面

---

  - 3.3 [ 接続先登録 ] 画面

---

  - 3.4 [ 検索条件 ] 画面

---

  - 3.5 [ 認証 ] 画面

---

  - 3.6 検索結果画面

---

  - 3.7 [ 検索条件確認 ] 画面

---

  - 3.8 [ ログ蓄積範囲 ] 画面

---

  - 3.9 [ 検索条件設定 ] 画面

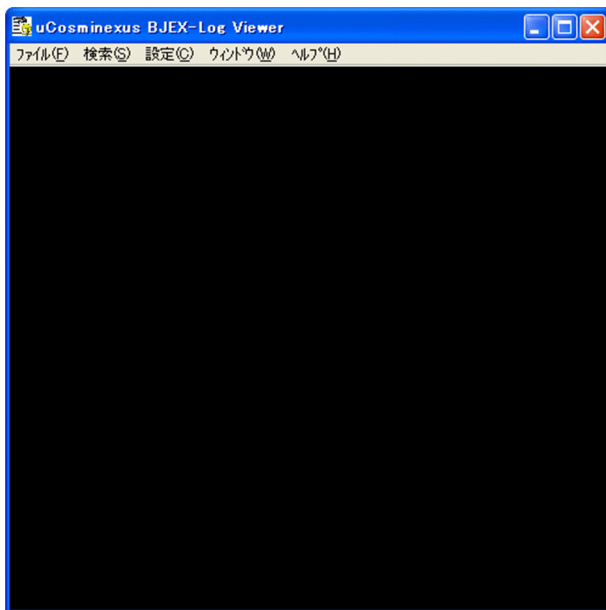
---

  - 3.10 [ 検索条件登録 ] 画面
-

## 3.1 メイン画面

メイン画面に表示される項目を説明します。

図 3-1 メイン画面



### [ ファイル ] メニュー

次の表に示す項目が表示されます。

項目	説明
[ 終了 ]	Log Viewer を終了する場合に選択します。 保存していない検索結果は破棄されます。必要に応じて、終了の前に検索結果を保存してください。検索結果を保存する操作については、「2.4.5 検索結果の保存」を参照してください。

### [ 検索 ] メニュー

次の表に示す項目が表示されます。

項目	説明
[ 新規検索 ]	ログを検索する場合に選択します。メイン画面内に [ 検索条件 ] 画面が表示されます。 すでに検索結果画面が表示されている場合、[ 新規検索 ] を選択すると、別画面で [ 検索条件 ] 画面が表示されます。また、表示されている検索結果画面で [ 検索 ] メニューから [ 検索 ] を選択すると、新規に検索できます。このとき、すでにある検索結果画面に上書きして、検索結果が表示されます。 ログを検索する操作については、「2.4 ログを検索する」を参照してください。

### [ 設定 ] メニュー

次の表に示す項目が表示されます。

項目	説明
[ 接続先情報登録 ]	Log Manager への接続先情報を登録する場合に選択します。メイン画面内に [ 接続先情報設定 ] 画面が表示されます。 接続先情報を登録する操作については、「2.3 Log Manager への接続先情報を登録、変更、削除する」を参照してください。
[ 検索条件登録 ]	よく使うログの検索条件を登録する場合に選択します。メイン画面内に [ 検索条件設定 ] 画面が表示されます。 検索条件を登録、変更、削除する操作については、「2.5 よく使う検索条件を登録、変更、削除する」を参照してください。

#### [ ウィンドウ ] メニュー

次の表に示す項目が表示されます。

項目	説明
検索結果画面の名前	特定の検索結果画面を最前面に表示する場合に選択します。メイン画面内に検索結果画面が表示されている場合、名前を選んだ検索結果画面が最前面になります。
[ 重ねて表示 ]	複数の検索結果画面を重ねて表示する場合に選択します。検索結果画面が左上から右下へ重ねて表示されます。
[ 全て閉じる ]	すべての検索結果画面を閉じる場合に選択します。メイン画面内に表示されているすべての検索結果画面が閉じます。

#### [ ヘルプ ] メニュー

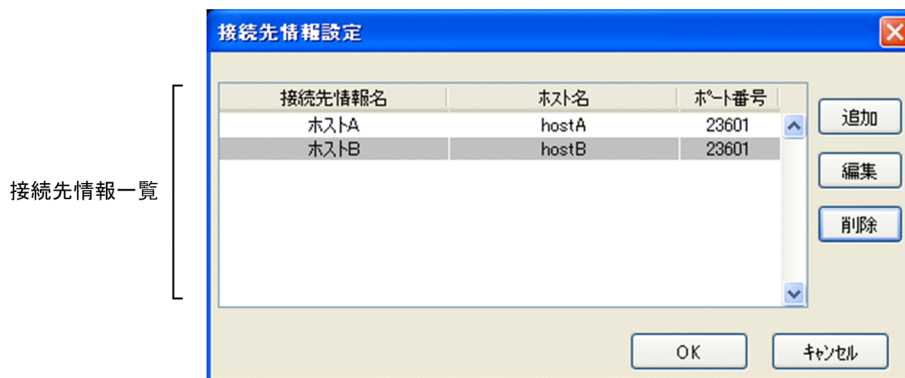
次の表に示す項目が表示されます。

項目	説明
[ バージョン情報 ]	BJEX ログビューアのバージョン情報などを参照する場合に選択します。バージョン情報、著作権などが表示された画面が、メイン画面内に表示されます。

## 3.2 [ 接続先情報設定 ] 画面

[ 接続先情報設定 ] 画面に表示される項目を説明します。

図 3-2 [ 接続先情報設定 ] 画面



### 接続先情報一覧

登録した接続先情報が一覧で表示されます。登録できる接続先情報の上限は 255 件です。

また、接続先情報の表示順は、接続先情報名の英大文字、英小文字、全角ひらがな、全角かたかな、漢字、半角かたかなの順です。

#### [ 接続先情報名 ] 列

接続先情報名が表示されます。

#### [ ホスト名 ] 列

接続先情報に設定されたホスト名が表示されます。

#### [ ポート番号 ] 列

接続先情報に設定されたポート番号が表示されます。

#### [ 追加 ] ボタン

接続先情報を追加する場合にクリックします。[ 接続先登録 ] 画面が表示されます。

#### [ 編集 ] ボタン

登録されている接続先情報を変更する場合に、接続先情報一覧で接続先情報を選択したあと、クリックします。選択した接続先情報が [ 接続先登録 ] 画面に表示されます。

#### [ 削除 ] ボタン

登録されている接続先情報を削除する場合に、接続先情報一覧で接続先情報を選択したあと、クリックします。選択した接続先情報が接続先情報一覧から削除されます。

#### [ OK ] ボタン

[ 接続先情報設定 ] 画面で設定した内容を確定する場合にクリックします。設定した内容が保存されてメイン画面に戻ります。

[ キャンセル ] ボタン

[ 接続先情報設定 ] 画面で設定した内容の登録をキャンセルする場合にクリックします。設定した内容が破棄されてメイン画面に戻ります。

## 3.3 [ 接続先登録 ] 画面

[ 接続先登録 ] 画面に表示される項目を説明します。

図 3-3 [ 接続先登録 ] 画面

### [ 接続先情報名 ] テキストボックス

接続先情報名を入力します。すでに登録されている接続先情報名は入力できません。入力できる文字は 64 文字以内の全角文字および半角文字です。接続先情報を新規に登録するとき、この項目の指定は必須です。なお、登録した接続先情報の接続先情報名は変更できません。接続先情報名を変更したいときは、接続先情報を削除したあと、再度登録してください。

### [ ホスト名 ] テキストボックス

Log Manager がインストールされているマシンのホスト名を 255 文字以内で入力します。入力できる形式を次に示します。

- FQDN 形式 (ドメイン名とホスト名をピリオドでつないだ xxx.yyy.zzz.co.jp の形式)
- FQDN 形式の xxx の部分だけの形式
- IP アドレスの形式 ( 123.123.123.123 の形式 )

### [ ポート番号 ] テキストボックス

Log Manager との接続に使用するポート番号を 1024 ~ 65535 の半角数字で入力します。

[ 接続先登録 ] 画面の表示時は、「23601」が入力されています。

### [ 登録 ] ボタン

指定した内容で接続先情報を登録する場合にクリックします。[ 接続先情報設定 ] 画面の接続先情報一覧に接続先情報が追加されます。

なお、[ ホスト名 ] テキストボックスに登録済みのホスト名を入力して [ 登録 ] ボタンをクリックすると、KAKI408-W メッセージを示すダイアログが出力されます。

そのまま登録する場合は [ 了解 ] ボタン、登録をキャンセルする場合は [ 取消し ] ボタンをクリックしてください。

### [ キャンセル ] ボタン

接続先情報の登録をキャンセルする場合にクリックします。指定した内容が破棄されて、[ 接続先情報設定 ] 画面に戻ります。

## 3.4 [ 検索条件 ] 画面

[ 検索条件 ] 画面に表示される項目を説明します。

図 3-4 [ 検索条件 ] 画面

### [ 接続先 ] プルダウンメニュー

接続先とする Log Manager の情報が登録された接続先情報名を選択します。

[ 接続先登録 ] 画面で登録した接続先情報名が表示されます。接続先情報の登録方法については、「2.3 Log Manager への接続先情報を登録, 変更, 削除する」を参照してください。

### [ 検索開始 ] テキストボックスおよび [ 検索終了 ] テキストボックス

検索範囲とする検索開始年月日・時刻および検索終了年月日・時刻を次の表に示す順に入力します。

項目	説明
西暦年	4 けたの整数値を入力します。入力できる値は 2000 ~ 9999 です。
月	2 けた以内の整数値を入力します。入力できる値は 1 ~ 12 です。
日	2 けた以内の整数値を入力します。入力できる値は 1 ~ 31 です。
時	2 けた以内の整数値を入力します。入力できる値は 0 ~ 23 です。
分	2 けた以内の整数値を入力します。入力できる値は 0 ~ 59 です。
秒	2 けた以内の整数値を入力します。入力できる値は 0 ~ 59 です。

### 3. 操作に使用する画面

	西暦年	月	日	時	分	秒
検索開始	2008	/	11	/	5	20 : 32 : 16
検索終了	2008	/	11	/	6	20 : 32 : 16
	西暦年	月	日	時	分	秒

[ 検索条件 ] 画面の表示時は、次の内容が表示されます。

- [ 検索開始 ]: 画面を表示した日付・時刻から過去  $X$  日 前の日付・時刻
- [ 検索終了 ]: 画面を表示した日付・時刻

注

$X$  は、Log Viewer 設定ファイルに設定された日数です。

[ 検索条件名 ] プルダウンメニュー

よく使う検索条件を登録している場合、検索条件名を選択します。

[ 検索条件登録 ] 画面で登録した検索条件名が表示されます。検索条件の登録方法については、「2.5 よく使う検索条件を登録、変更、削除する」を参照してください。

[ 出力元 ] テキストボックス

ログを出力したマシンのホスト名または IP アドレスを、255 文字以内の正規表現で指定します。指定できる形式を次に示します。

- FQDN 形式 (ドメイン名とホスト名をピリオドでつないだ xxx.yyy.zzz.co.jp の形式)
- FQDN 形式の xxx の部分だけの形式
- IP アドレスの形式 (123.123.123.123 の形式)

この項目の指定を省略して検索した場合、[ 接続先 ] プルダウンメニューで選択した Log Manager に接続するすべての Log Agent で収集されたログが、検索の対象になります。

[ 出力元 ] テキストボックスに指定する正規表現の例については、「付録 A.2 正規表現の指定例」を参照してください。

[ ログ種別 ]

検索対象のログ種別を指定します。

検索条件を新規に指定するとき、この項目の指定は必須です。

[ bjexec ] チェックボックス

BJEX の実行ログを検索する場合にチェックします。

- [ メッセージ ID ] テキストボックス

[ bjexec ] チェックボックスをチェックした場合に、メッセージ ID を指定できます。

メッセージ ID は正規表現で指定します。

入力できる文字は 255 文字以内の半角文字です。

メッセージ ID を指定しないで検索した場合、すべての BJEX の実行ログが



検索の対象になります。

[メッセージ ID] テキストボックスに指定する正規表現の例については、「付録 A.2 正規表現の指定例」を参照してください。

[ syslog ] チェックボックス

syslog を検索する場合にチェックします。

ただし、検索対象の出力元マシンの OS が Windows の場合は、[ syslog ] チェックボックスの指定は無視されます。

[ メッセージテキスト ] テキストボックス

メッセージテキストを正規表現で指定します。

入力できる文字は 255 文字以内の全角文字および半角文字です。

この項目の指定を省略して検索した場合、すべてのログのメッセージが検索の対象になります。BJEX ログビューアでは、出力されたログの先頭から行末までをメッセージテキストとして扱います。

[メッセージテキスト] テキストボックスに指定する正規表現の例については、「付録 A.2 正規表現の指定例」を参照してください。

[ OK ] ボタン

[ 認証 ] 画面が表示されます。[ 認証 ] 画面でユーザー ID およびパスワードを入力してから [ OK ] ボタンをクリックすると、検索が開始され、検索結果画面が表示されます。

[ キャンセル ] ボタン

指定した内容が破棄されて、[ 検索条件 ] 画面が閉じます。

注意事項

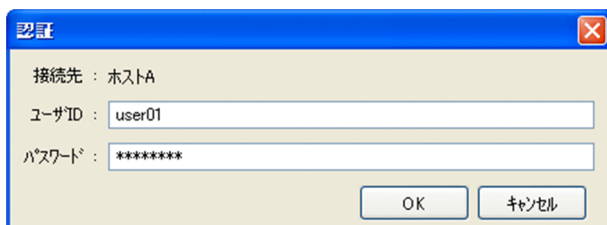
[ 検索条件 ] 画面で設定した検索条件の内容は、次回に [ 検索条件 ] 画面を表示したとき、引き継がれません。

## 3.5 [ 認証 ] 画面

---

[ 認証 ] 画面に表示される項目を説明します。

図 3-5 [ 認証 ] 画面



### [ 接続先 ]

[ 検索条件 ] 画面で選択した接続先情報名が表示されます。

### [ ユーザ ID ] テキストボックス

Log Manager がインストールされているマシンのユーザー ID を入力します。なお、パスワードが設定されていないユーザー ID は使用できません。

入力できる文字数は 255 文字以内です。

### [ パスワード ] テキストボックス

[ ユーザ ID ] テキストボックスに入力したユーザー ID に対応するパスワードを入力します。

入力できる文字は 8 文字以内の半角文字です。

### [ OK ] ボタン

入力したユーザー ID とパスワードで認証を行う場合にクリックします。

認証が成功すると、[ 検索条件 ] 画面で指定した検索条件で検索が行われます。

認証に失敗すると、KAKI108-E メッセージを示すダイアログが表示されます。このときは、[ 了解 ] ボタンをクリックしてください。[ 了解 ] ボタンをクリックすると、再度、[ 認証 ] 画面が表示されるので、正しいユーザー ID とパスワードを入力して認証を行ってください。

### [ キャンセル ] ボタン

認証および検索をキャンセルする場合にクリックします。

### 注意事項

一度認証が成功した接続先に対して再検索を行う場合、認証に成功したユーザー ID およびパスワードを基に認証が行われます。そのため、[ 認証 ] 画面は表示されません。

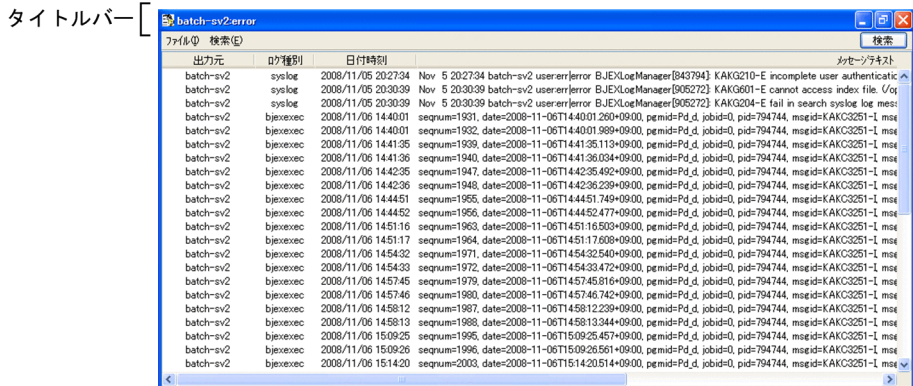
ただし、再検索までに、Log Manager がインストールされているマシンでユーザー ID やパスワードが無効になったときや、Log Viewer を再起動してから再検索するときは、再度認証が必要になります。そのため、[ 認証 ] 画面が表示されます。

## 3.6 検索結果画面

検索結果画面に表示される項目を説明します。検索結果画面を同時に表示できる数は 32 までです。

また、Log Manager では syslog、BJEX の実行ログの順でログがフォルダに蓄積されているため、検索結果も同様に、syslog のメッセージ、BJEX の実行ログのメッセージの順で検索結果画面に表示されます。

図 3-6 検索結果画面



タイトルバー

「NEW」または「**接続先情報名：検索条件名**」が表示されます。

**接続先情報名**は、[ 検索条件 ] 画面の [ 接続先 ] プルダウンメニューで選択した接続先情報名です。

**検索条件名**は、登録されている検索条件を使用して検索した場合に表示されます。

[ ファイル ] メニュー

次の表に示す項目が表示されます。

項目	説明
[ 保存 ]	検索結果画面に表示された内容をファイルに保存する場合に選択します。ファイルを保存するダイアログが表示されます。 検索結果を保存する操作については、「2.4.5 検索結果の保存」を参照してください。
[ 閉じる ]	検索結果画面を閉じる場合に選択します。

[ 検索 ] メニュー

次の表に示す項目が表示されます。

### 3. 操作に使用する画面

項目	説明
[ 検索 ]	条件を変更して再検索する場合に選択します。[ 検索条件 ] 画面が表示されます。条件を変更して再検索する操作については、「2.4.3 検索条件を変更して再検索」を参照してください。
[ 中断 ]	検索の実行中、検索を中断する場合に選択します。検索の中断を確認するダイアログが表示されます。検索を中断する操作については、「2.4.2 検索の中断」を参照してください。
[ 条件確認 ]	表示されている検索結果について、検索条件を確認する場合に選択します。[ 検索条件確認 ] 画面が表示されます。検索条件を確認する操作については、「2.4.4 検索条件の確認」を参照してください。
[ 蓄積範囲確認 ]	検索実行時、接続先として選択した Log Manager に、いつからいつまでのログが蓄積されていたのかを確認する場合に選択します。[ ログ蓄積範囲 ] 画面が表示されます。ログの蓄積範囲を確認する操作については、「2.4.7 ログの蓄積範囲の確認」を参照してください。

#### [ 検索 ] ボタン

条件を変更して再検索する場合にクリックします。[ 検索条件 ] 画面が表示されま  
す。

検索を実行していないときに表示されるボタンです。

#### [ 中断 ] ボタン

検索の実行中に表示されるボタンです。検索を中断する場合にクリックします。ク  
リックすると、検索の中断を確認する KAKI111-W メッセージがメッセージダイア  
ログに表示されます。メッセージダイアログで [ 了解 ] ボタンをクリックすると、  
検索が中断されます。このとき、検索結果の最終行に「\*\*\*\* END \*\*\*\*」は表示され  
ません。

#### [ 出力元 ] 列

ログを出力したマシンのホスト名が表示されます。

再検索などで、表示された文字列を検索条件として使用したいときは、表示された  
文字列をコピーできます。文字列をダブルクリックすると選択できる状態になるの  
で、キーボードの [ Ctrl ] + [ C ] でコピーしてください。

一覧のヘッダーにある [ 出力元 ] をクリックすると、出力元の文字列の昇順または  
降順でソートされます。

#### [ ログ種別 ] 列

ログ種別として次のどちらかが表示されます。

- bjexec : BJEX の実行ログであることを示します。
- syslog : syslog であることを示します。

再検索などで、表示された文字列を検索条件として使用したいときは、表示された  
文字列をコピーできます。文字列をダブルクリックすると選択できる状態になるの  
で、キーボードの [ Ctrl ] + [ C ] でコピーしてください。

一覧のヘッダーにある [ ログ種別 ] をクリックすると、bjexec、syslog の順または逆の順でソートされます。

#### [ 日付時刻 ] 列

ログが出力された年月日および時刻が「yyyy/mm/dd HH:MM:SS」の形式で表示されます。yyyy は西暦年、mm は月、dd は日、HH は時、MM は分、SS は秒を示します。

再検索などで、表示された文字列を検索条件として使用したいときは、表示された文字列をコピーできます。文字列をダブルクリックすると選択できる状態になるので、キーボードの [ Ctrl ] + [ C ] でコピーしてください。

一覧のヘッダーにある [ 日付時刻 ] をクリックすると、日付時刻の昇順または降順でソートされます。

#### [ メッセージテキスト ] 列

検索条件に該当するメッセージが表示されます。

メッセージの表示が正常に完了した場合、メッセージの最終行に「\*\*\*\* END \*\*\*\*」が表示されます。

再検索などで、表示された文字列を検索条件として使用したいときは、表示された文字列をコピーできます。文字列をダブルクリックすると選択できる状態になるので、キーボードの [ Ctrl ] + [ C ] でコピーしてください。

一覧のヘッダーにある [ メッセージテキスト ] をクリックすると、メッセージテキストの文字列の昇順または降順でソートされます。

## 3.7 [ 検索条件確認 ] 画面

---

[ 検索条件確認 ] 画面に表示される項目を説明します。

図 3-7 [ 検索条件確認 ] 画面

検索条件確認

接続先: ホストA

検索条件

検索開始: 2008 / 11 / 5 15 : 29 : 28

検索終了: 2008 / 11 / 5 16 : 29 : 28

検索条件名:

出力元: batch-sv2

ログ種別

- bjexec  
メッセージID: KAKC.\*
- syslog

メッセージテキスト: \*.error.\*|\*Error.\*|\*ERROR\*

OK キャンセル

[ OK ] ボタン

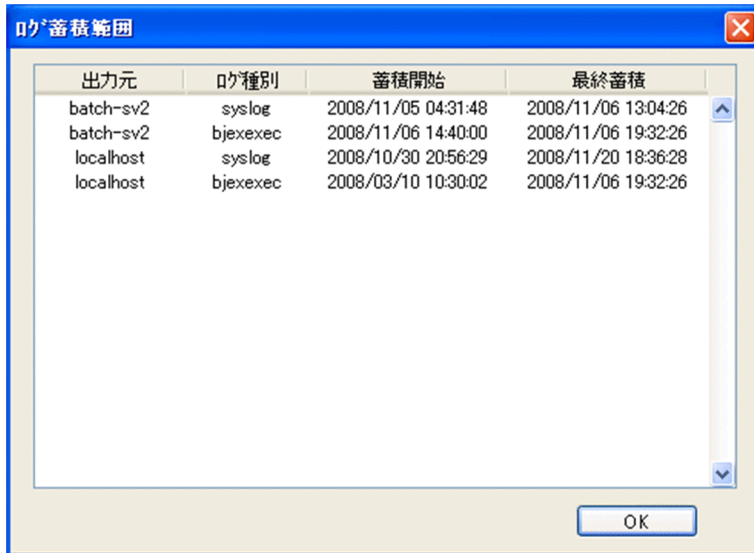
[ 検索条件確認 ] 画面を閉じる場合にクリックします。

## 3.8 [ ログ蓄積範囲 ] 画面

[ ログ蓄積範囲 ] 画面に表示される項目を説明します。

Log Manager では syslog , BJEX の実行ログの順でログがフォルダに蓄積されているため、蓄積範囲も同様に、syslog のメッセージ、BJEX の実行ログのメッセージの順で [ ログ蓄積範囲 ] 画面に表示されます。

図 3-8 [ ログ蓄積範囲 ] 画面



出力元	ログ種別	蓄積開始	最終蓄積
batch-sv2	syslog	2008/11/05 04:31:48	2008/11/06 13:04:26
batch-sv2	bjexec	2008/11/06 14:40:00	2008/11/06 19:32:26
localhost	syslog	2008/10/30 20:56:29	2008/11/20 18:36:28
localhost	bjexec	2008/03/10 10:30:02	2008/11/06 19:32:26

[ 出力元 ] 列

ログを出力したマシンのホスト名が表示されます。

[ ログ種別 ] 列

ログ種別として次のどちらかが表示されます。

- bjexec : BJEX の実行ログであることを示します。
- syslog : syslog であることを示します。

[ 蓄積開始 ] 列

[ ログ種別 ] に表示されたログが、出力元から Log Manager に最初に蓄積された日付および時刻が表示されます。

日付および時刻は「yyyy/mm/dd HH:MM:SS」の形式です。yyyy は西暦年、mm は月、dd は日、HH は時、MM は分、SS は秒を示します。

[ 最終蓄積 ] 列

[ ログ種別 ] に表示されたログが、出力元から Log Manager に最後に蓄積された日付および時刻が表示されます。

日付および時刻は「yyyy/mm/dd HH:MM:SS」の形式です。yyyy は西暦年、mm は

### 3. 操作に使用する画面

月, dd は日, HH は時, MM は分, SS は秒を示します。

[ OK ] ボタン

[ ログ蓄積範囲 ] 画面を閉じる場合にクリックします。



## 3.9 [ 検索条件設定 ] 画面

[ 検索条件設定 ] 画面に表示される項目を説明します。

図 3-9 [ 検索条件設定 ] 画面



### 検索条件一覧

登録した検索条件が一覧で表示されます。登録できる検索条件の上限は 4,096 件です。

また、検索条件の表示順序は、検索条件名の英大文字、英小文字、全角ひらがな、全角かたかな、漢字、半角かたかなの順です。

#### [ 検索条件名 ] 列

検索条件名が表示されます。

#### [ 出力元 ] 列

出力元に設定した検索条件が表示されます。

#### [ ログ種別 ] 列

検索対象のログ種別が表示されます。

- bjexec : BJEX の実行ログであることを示します。
- syslog : syslog であることを示します。

#### [ メッセージ ID ] 列

メッセージ ID に設定した検索条件が表示されます。

#### [ メッセージテキスト ] 列

メッセージテキストに設定した検索条件が表示されます。

### [ 追加 ] ボタン

検索条件を追加する場合にクリックします。[ 検索条件登録 ] 画面が表示されます。

### [ 編集 ] ボタン

登録されている検索条件を変更する場合に、検索条件一覧で検索条件を選択したあと、クリックします。選択した検索条件が [ 検索条件登録 ] 画面に表示されます。

### 3. 操作に使用する画面

#### [削除] ボタン

登録されている検索条件を削除する場合に、検索条件一覧で検索条件を選択したあと、クリックします。選択した検索条件が検索条件一覧から削除されます。

#### [OK] ボタン

[検索条件設定] 画面で設定した内容を確定する場合にクリックします。設定した内容が保存されてメイン画面に戻ります。

#### [キャンセル] ボタン

[検索条件設定] 画面で設定した内容の登録をキャンセルする場合にクリックします。設定した内容が破棄されてメイン画面に戻ります。

## 3.10 [ 検索条件登録 ] 画面

[ 検索条件登録 ] 画面に表示される項目を説明します。

図 3-10 [ 検索条件登録 ] 画面

### [ 検索条件名 ] テキストボックス

検索条件名を入力します。

入力できる文字は 64 文字以内の全角文字および半角文字です。

検索条件を新規に登録するとき、この項目の指定は必須です。

なお、登録した検索条件の検索条件名は変更できません。検索条件名を変更したいときは、検索条件を削除したあと、再度登録してください。

### [ 出力元 ] テキストボックス

ログを出力したマシンのホスト名または IP アドレスを正規表現で指定します。

入力できる文字数は 255 文字以内です。

ホスト名の場合、指定できる形式は、FQDN 形式（ドメイン名とホスト名をピリオドでつないだ xxx.yyy.zzz.co.jp の形式）のうち、ホスト名（xxx）の部分です。

xxx.yyy.zzz.co.jp の形式では指定しないでください。また、半角英数字で指定してください。

[ 出力元 ] テキストボックスに指定する正規表現の例については、「付録 A.2 正規表現の指定例」を参照してください。

### [ ログ種別 ]

検索対象のログ種別を指定します。

検索条件を新規に登録するとき、この項目の指定は必須です。

#### [ bjexec ] チェックボックス

BJEX の実行ログを検索する場合にチェックします。

#### • [ メッセージ ID ] テキストボックス

[ bjexec ] チェックボックスをチェックした場合に、メッセージ ID を指定できます。

メッセージ ID は正規表現で指定します。

### 3. 操作に使用する画面

入力できる文字は 255 文字以内の半角文字です。

メッセージ ID を指定しないで検索した場合、すべての BJEX の実行ログが検索の対象になります。

[メッセージ ID] テキストボックスに指定する正規表現の例については、「付録 A.2 正規表現の指定例」を参照してください。

#### [ syslog ] チェックボックス

syslog を検索する場合にチェックします。

ただし、検索対象の出力元マシンの OS が Windows の場合は、[ syslog ] チェックボックスの指定は無視されます。

#### [ メッセージテキスト ] テキストボックス

メッセージテキストを正規表現で指定します。

入力できる文字は 255 文字以内の全角文字または半角文字です。

[メッセージテキスト] テキストボックスに指定する正規表現の例については、「付録 A.2 正規表現の指定例」を参照してください。

#### [ 登録 ] ボタン

指定した内容で検索条件を登録する場合にクリックします。[ 検索条件設定 ] 画面の検索条件一覧に検索条件が追加されます。

#### [ キャンセル ] ボタン

検索条件の登録をキャンセルする場合にクリックします。指定した内容が破棄されて、[ 検索条件設定 ] 画面に戻ります。

# 4

## トラブルシューティング

この章では、Log Viewer でトラブルが発生した場合の対処方法について説明します。

---

4.1 トラブル発生時の対処の流れ

---

4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法

---

## 4.1 トラブル発生時の対処の流れ

---

Log Viewer でトラブルが発生した場合は、次の手順で対処します。

1. エラーメッセージを確認します。
2. メッセージの要因および対処方法を確認して、対処します。  
エラーメッセージの見方、要因および対処方法については、「5. メッセージ」を参照してください。
3. トラブルが解消されない場合は、必要な資料を採取して保守員に連絡します。  
トラブル発生時に採取が必要な資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

## 4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法

Log Viewer の操作時に発生するおそれのあるトラブルを次の表に示します。また、トラブルが発生したときに採取が必要な資料についても説明します。各資料の採取方法については、(1) ~ (7) を参照してください。

表 4-1 Log Viewer の操作時に発生するおそれのあるトラブル、および採取が必要な資料

トラブル	説明	採取が必要な資料
メッセージの出力	メッセージダイアログに、障害の内容を示すメッセージが出力されます。または、Windows のアプリケーションログまたはシステムログに、イベントログが出力されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージダイアログを採取します。また、メッセージの対処を確認して、必要であれば、次の資料を採取します。</li> <li>イベントログ（アプリケーションログ、システムログ）</li> <li>トレースファイル</li> <li>Log Viewer の設定ファイル</li> <li>検索結果画面の内容</li> <li>検索結果ファイル</li> <li>Log Manager のトレースファイル</li> </ul>
Log Viewer の異常終了	ユーザーの停止以外の操作で、Log Viewer が終了します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントログ（アプリケーションログ、システムログ）</li> <li>トレースファイル</li> <li>Log Viewer の設定ファイル</li> <li>検索結果画面の内容</li> <li>検索結果ファイル</li> <li>Log Manager のトレースファイル</li> </ul>
Log Viewer のハングアップ	Log Viewer の操作ができなくなります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントログ（アプリケーションログ、システムログ）</li> <li>トレースファイル</li> <li>Log Viewer の設定ファイル</li> <li>検索結果画面の内容</li> <li>検索結果ファイル</li> <li>Log Manager のトレースファイル</li> </ul>
Log Viewer のスローダウン	Log Viewer の操作に対する応答が遅くなります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントログ（アプリケーションログ、システムログ）</li> <li>トレースファイル</li> <li>Log Viewer の設定ファイル</li> <li>検索結果画面の内容</li> <li>検索結果ファイル</li> <li>Log Manager のトレースファイル</li> </ul>
Log Viewer の検索結果の不正	検索条件に一致しているはずのログが検索結果画面に表示されなくなります。または、検索条件に一致しないログが表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントログ（アプリケーションログ、システムログ）</li> <li>トレースファイル</li> <li>Log Viewer の設定ファイル</li> <li>検索結果画面の内容</li> <li>検索結果ファイル</li> <li>Log Manager のトレースファイル</li> </ul>

## 4. トラブルシューティング

### (1) メッセージダイアログ

メッセージダイアログが表示された場合は、メッセージ ID およびメッセージテキストを保存します。

メッセージダイアログは、Windows のスクリーンキャプチャ機能を使用して保存することを推奨します。保存の手順を次に示します。

1. メッセージダイアログをアクティブにします。
2. キーボードで、[ Alt ] + [ Print Screen ] を押します。  
クリップボードにメッセージダイアログがコピーされます。
3. ペイントなどの画像ソフトを使用して、ファイルに保存します。

### (2) イベントログ (アプリケーションログ、システムログ)

イベントログとして、アプリケーションログおよびシステムログを保存します。

保存の手順を次に示します。

1. イベントビューアを起動します。  
イベントビューアの起動方法については、OS のマニュアルを参照してください。
2. 左側のツリーで、「アプリケーションログ」を右クリックすると表示されるメニューから [ ログファイルの名前を付けて保存 ] を選択します。  
ファイルを保存するダイアログが表示されます。
3. 名前を付けて保存します。
4. アプリケーションログと同様に、「システムログ」についても保存します。

### (3) トレースファイル

トレースファイルを採取します。Log Viewer のインストール先フォルダ¥trace フォルダを任意の場所にコピーしてください。

### (4) Log Viewer の設定ファイル

Log Viewer の設定ファイルを採取します。Log Viewer のインストール先フォルダ¥conf フォルダを任意の場所にコピーしてください。

### (5) 検索結果画面の内容

検索結果が不正な場合は、検索結果画面の内容を保存します。

検索結果画面は、Windows のスクリーンキャプチャ機能を使用して保存することを推奨します。保存の手順を次に示します。

1. Log Viewer をアクティブにします。
2. キーボードで、[ Alt ] + [ Print Screen ] を押します。



クリップボードに Log Viewer の画面がコピーされます。

3. ペイントなどの画像ソフトを使用して、ファイルに保存します。

#### (6) 検索結果ファイル

検索結果が不正な場合は、検索結果ファイルを採取します。検索結果ファイルを任意の場所にコピーしてください。

#### (7) Log Manager の調査資料

トラブルの発生個所によっては、Log Manager の障害資料の採取が必要になります。Log Manager の障害資料の採取については、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。



# 5

## メッセージ

この章では、Log Viewer のメッセージについて説明します。

---

5.1 メッセージの形式

---

5.2 メッセージの出力先一覧

---

5.3 メッセージ一覧

---

## 5.1 メッセージの形式

---

メッセージの出力形式，およびこのマニュアルでのメッセージの記載形式について説明します。

### 5.1.1 メッセージの出力形式

メッセージは，メッセージ ID とそれに続くメッセージテキストで構成されています。出力されるメッセージの形式を次に示します。

```
KAKInnn-Z メッセージテキスト
```

KAKI

メッセージの種別を表します。

nnn

メッセージの通し番号です。

Z

メッセージの種類を表します。

- E: エラーメッセージを示します。処理は中断されます。
- W: 警告メッセージを示します。メッセージ出力後，処理は続行されます。
- I: 通知メッセージを示します。ユーザーに情報を知らせます。

### 5.1.2 メッセージの記載形式

メッセージの記載形式を次に示します。

#### メッセージ ID

---

英語メッセージテキストまたは日本語メッセージテキスト

メッセージの説明文

要因

メッセージの要因を示します。

対処

メッセージが出力されたときに，オペレーターの取る処置を示します。

## 5.2 メッセージの出力先一覧

BJEX ログビューアが出力する KAKI メッセージの出力先一覧を次の表に示します。

表 5-1 メッセージの出力先一覧

メッセージ ID	標準出力	メッセージダイアログ	イベントログ
KAKI001-I	-	-	
KAKI002-I	-	-	
KAKI003-E	-	-	
KAKI004-E	-	-	
KAKI005-E	-	-	
KAKI006-E	-	-	
KAKI007-I	-	-	
KAKI008-E	-	-	
KAKI009-I	-	-	
KAKI010-E	-	-	
KAKI011-I	-	-	
KAKI012-I	-	-	
KAKI013-W	-	-	
KAKI014-I	-	-	
KAKI015-E	-	-	
KAKI016-E	-	-	
KAKI017-E	-	-	
KAKI018-E	-	-	
KAKI020-E	-	-	
KAKI101-E	-		-
KAKI102-E	-		-
KAKI103-E	-		-
KAKI104-E	-		-
KAKI107-E	-		-
KAKI108-E	-		-
KAKI109-E	-		-
KAKI110-E	-		-
KAKI111-W	-		-
KAKI112-E	-		-
KAKI113-E	-		-

## 5. メッセージ

メッセージ ID	標準出力	メッセージダイアログ	イベントログ
KAKI114-E	-		-
KAKI115-W	-		-
KAKI116-E	-		-
KAKI117-E	-		-
KAKI118-E	-		-
KAKI119-E	-		-
KAKI120-W	-		-
KAKI121-W	-		-
KAKI122-W	-		-
KAKI123-W	-		-
KAKI124-E	-		-
KAKI201-E	-		-
KAKI203-E	-		-
KAKI204-E	-		-
KAKI301-E	-		-
KAKI302-E	-		-
KAKI303-E	-		-
KAKI401-E	-		-
KAKI403-E	-		-
KAKI405-E	-		-
KAKI406-E	-		-
KAKI407-E	-		-
KAKI408-W	-		-
KAKI409-E	-		-
KAKI410-E	-		-
KAKI501-E	-		-
KAKI506-E	-		-
KAKI507-E	-		-
KAKI509-E	-		-
KAKI606-E	-		-
KAKI607-E	-		-
KAKI608-E	-		-
KAKI609-E	-		-
KAKI610-E	-		-
KAKI611-E	-		-

メッセージ ID	標準出力	メッセージダイアログ	イベントログ
KAKI612-E	-		-
KAKI613-E	-		-
KAKI614-E	-		-
KAKI615-E	-		-
KAKI616-E	-		-
KAKI617-E	-		-
KAKI618-E	-		-
KAKI619-E	-		-
KAKI620-E	-		-
KAKI701-E	-		-
KAKI702-E	-		-
KAKI703-E	-		-
KAKI704-E	-		-
KAKI707-E	-		-
KAKI900-E		-	-

( 凡例 )

: 出力します。

- : 出力しません。

## 5.3 メッセージ一覧

---

BJEX ログビューアが出力する KAKI メッセージについて説明します。

### 5.3.1 KAKI メッセージ

#### KAKI001-I

---

start Log Viewer

Log Viewer を起動しました。

#### KAKI002-I

---

stop Log Viewer

Log Viewer を終了しました。

#### KAKI003-E

---

cannot read file.( *エラー詳細* )

*エラー詳細*に示す設定ファイルに読み込み権限がないため、Log Viewer の起動に失敗しました。

要因

*エラー詳細*に示す設定ファイルに対して、Log Viewer を起動したユーザーの読み込み権限がありません。

対処

*エラー詳細*に示す設定ファイルに読み込み権限があるかを調べ、ない場合は設定してください。

#### KAKI004-E

---

cannot save file.( *エラー詳細* )

*エラー詳細*に示すファイルまたはファイルを保存するフォルダに書き込み権限がないため、ファイルの保存に失敗しました。*エラー詳細*には設定ファイルまたは検索結果を保存するファイルが出力されます。

要因

次のどちらかの要因によって、ファイルを保存できません。

- *エラー詳細*に示すファイルまたはファイルを保存するフォルダに書き込み権限がありません。
- ほかのアプリケーションで*エラー詳細*に示すファイルを使用しています。

対処

次の対処を実施します。

- *エラー詳細*に示す設定ファイルに書き込み権限があるかを調べます。



権限がある場合は、*エラー詳細*に示す設定ファイルを保存するフォルダに対して書き込み権限があるかを調べます。フォルダに対して書き込み権限がない場合は、設定してください。

権限がない場合は、権限を設定してください。

- ほかのアプリケーションで、*エラー詳細*に示すファイルが使用されていないかを確認します。

ほかのアプリケーションでファイルを使用している場合は、ほかのアプリケーションでのファイルの使用を中止したあと、ファイルを保存します。

## KAKI005-E

---

cannot access directory.

設定ファイルの読み込みに失敗したため、起動に失敗しました。

### 要因

設定ファイルの読み込みでフォルダへのアクセスが拒否されたため、Log Viewer の起動に失敗しました。

### 対処

次のフォルダに読み込み権限があるかを調べ、ない場合は設定してください。

*Log Viewer* のインストール先フォルダ ¥Bjexlog¥bjexlogviewer¥conf

注 *Log Viewer* のインストール先フォルダは、使用する環境によって異なります。

## KAKI006-E

---

cannot create trace file.

トレースの作成に失敗しました。

### 要因

トレースファイルに対する書き込み権限がないため、トレースファイルの作成またはオープンに失敗しました。

### 対処

次のトレースファイルおよびトレースファイルのフォルダに対して書き込み権限があるかを調べ、ない場合は設定してください。

*Log Viewer* のインストール先フォルダ ¥Bjexlog¥bjexlogviewer¥trace

注 *Log Viewer* のインストール先フォルダは、使用する環境によって異なります。

## KAKI007-I

---

success to connect.( 接続先 ポート番号)

接続先およびポート番号に示すマシンへの接続に成功しました。

## KAKI008-E

---

fail to connect. ( 接続先 ポート番号 [ エラー内容 ] )

接続先およびポート番号に示すマシンへの接続処理で、エラー内容に示すエラーが発生したため、接続に失敗しました。

### 要因

次のどれかの要因によって、接続先に示す接続先に接続できません。

- 接続先に示すマシンと接続していません。
- 接続先に示すマシンで Log Manager が起動していません。
- Log Viewer の接続先情報として入力したポート番号が誤っています。

### 対処

次の対処を実施します。

- 接続先に示すマシンと接続していることを調べます。
- 接続先に示すマシンで Log Manager が起動していることを調べます。
- ポート番号に示すポート番号で Log Manager が起動していることを調べます。
- Log Manager が起動している場合は、Log Manager および Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Manager の障害発生時の資料については、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

## KAKI009-I

---

socket closed.( 接続先 )

接続先に示す接続先との接続を終了しました。

## KAKI010-E

---

socket error occurred.( 接続先 [ エラー内容 ] )

接続先に示す接続先との接続で、エラー内容に示すエラーが発生したため、ソケットを切断しました。

### 要因

接続先に示す接続先とのソケット接続で、エラー内容に示すエラーが発生しました。

### 対処

回線障害が発生している場合は、障害を回復します。

回線障害が発生していない場合、または回線障害が発生しているかどうかを判断できない場合は、Log Manager および Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Manager の障害発生時の資料については、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

**KAKI011-I**

---

search is started.

検索を開始しました。

**KAKI012-I**

---

search is finished.

検索を終了しました。

**KAKI013-W**

---

search is interrupted.(理由)

理由に示す要因で検索が中断されました。

要因

検索が中断されました。理由に表示される理由およびその意味を次に示します。

理由	意味
user requested	ユーザーの操作によって検索が中断されました。
canceled	認証がキャンセルされました。
maxlog	検索条件と一致するメッセージが 50,000 行を超えたため、検索を中断しました。
socket closed	ソケットが切断されたため、検索を中断しました。

対処

理由に応じて、次の対処を実施します。

- user requested：対処不要です。
- canceled：対処不要です。
- maxlog：検索範囲を狭めてから再度検索します。
- socket closed：Log Manager を管理するユーザーに、Log Manager のマシンの syslog からソケットが切断された要因を調査し、要因を取り除くことを依頼します。要因が取り除かれたあと、再度検索します。

**KAKI014-I**

---

save as *ファイル名*.

*ファイル名*に示すファイルに検索結果を保存しました。ファイル名が長い場合は、ファイル名の途中を中略 (...) で表示します。

**KAKI015-E**

---

memory of virtual machine is short.

メモリ不足のため、検索結果はこれ以上表示されません。

要因

検索結果を表示するために必要なメモリが確保できませんでした。

## 5. メッセージ

### 対処

複数の検索結果画面を開いている場合は、幾つかの検索結果画面を閉じてから、再度検索します。再度検索しても同じメッセージが出力される場合は、Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

### KAKI016-E

---

fatal error occurred.

致命的なエラーが発生しました。

### 要因

回復できないエラーが発生しました。

### 対処

Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

### KAKI017-E

---

search caused error.(理由)

検索中に、理由に示すエラーが発生しました。検索を中断します。

### 要因

検索中に、理由に示すエラーが発生しました。理由に表示される理由およびその意味を次に示します。

理由	意味
error occurred	ソケットエラーによって切断されました。
connect error	接続に失敗しました。
not conformed version	バージョンが適合しません。
unknown error	予期しないエラーが発生しました。

### 対処

理由に応じて、次の対処を実施します。

理由	対処
error occurred	回線障害が発生している場合は、障害を回復します。 回線障害が発生していない場合は、Log Manager および Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。 Log Manager の障害発生時の資料については、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。 Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

理由	対処
connect error	Log Manager と接続していることを調べます。 Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。
not conformed version	バージョンが Log Manager と Log Viewer で適合していることを調べます。バージョンが適合していない場合、適合する Log Viewer を再インストールします。 バージョンが適合している場合は、Log Manager および Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。 Log Manager の障害発生時の資料については、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。 Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。
unknown error	Log Manager および Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。 Log Manager の障害発生時の資料については、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。 Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

### **KAKI018-E**

cannot load library.(ライブラリ名)

ライブラリ名に示す必要なライブラリをロードできないため、起動を停止します。

要因

ライブラリ名に示すライブラリをロードできません。

対処

ライブラリ名に示すライブラリが Log Viewer のインストール先フォルダに格納されているかを確認します。格納されていない場合は、Log Viewer を再インストールします。

### **KAKI020-E**

error returned from Log Manager.

検索中に Log Manager でエラーが発生しました。検索を中断します。

要因

Log Manager でエラーが発生しました。

対処

Log Manager を管理するユーザーに、Log Manager の稼働環境の syslog を確認し、エラー要因を取り除くことを依頼してください。

### KAKI101-E

---

not found configuration file.( 設定ファイル名)

設定ファイル名に示す必須の設定ファイルがないため、起動に失敗しました。

要因

設定ファイル名に示す必須の設定ファイルがありません。

対処

次のフォルダに設定ファイル名に示す設定ファイルを作成します。

Log Viewer のインストール先フォルダ ¥Bjexlog¥bjexlogviewer¥conf

注 Log Viewer のインストール先フォルダは、使用する環境によって異なります。

設定ファイルの詳細は、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」の「Log Viewer の設定ファイル」を参照してください。

### KAKI102-E

---

Log Viewer more than 10 cannot be started.

すでに最大同時実行数である 10 の Log Viewer が起動しています。

要因

すでに 10 の Log Viewer が起動しています。1 ユーザーで同時に実行できる Log Viewer は 10 です。

対処

起動している Log Viewer を使用して検索します。

### KAKI103-E

---

cannot create lock file.

ロックファイルの作成に失敗したため、起動に失敗しました。

要因

起動時に作成される一時ファイルの作成に失敗しました。

対処

ユーザーのホームディレクトリ に、Log Viewer を実行するユーザーの読み込み権限および書き込み権限があることを確認します。

注 ユーザーのホームディレクトリは、使用する環境によって異なります。

### KAKI104-E

---

cannot load configuration file.

設定ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

設定ファイルの読み込み時にエラーが発生しました。

**対処**

次のフォルダおよびフォルダ内のすべてのファイルに、Log Viewer を実行するユーザーの読み込み権限および書き込み権限があることを確認します。

*Log Viewer のインストール先フォルダ* %conf

注 *Log Viewer のインストール先フォルダは、使用する環境によって異なります。*

**KAKI107-E**

---

Log Viewer のバージョンが Log Manager のバージョンと適合しません。検索を終了します。バージョンが適合しないため、Log Manager への接続に失敗しました。

**要因**

Log Manager と Log Viewer のバージョンが適合していません。

**対処**

接続先の Log Manager と Log Viewer のバージョンが適合していることを確認します。バージョンが適合していない場合は、適合する Log Viewer を再インストールします。

**KAKI108-E**

---

ログインに失敗しました。

Log Manager との接続で認証が失敗したため、検索を実行できません。

**要因**

Log Manager との接続で認証が失敗しました。

**対処**

ユーザー ID とパスワードを確認してから、再度ログインします。ユーザー ID とパスワードを確認して再度ログインしても同じメッセージが出力される場合は、Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

**KAKI109-E**

---

検索条件の読み込みに失敗しました。

検索条件の読み込みに失敗しました。

**要因**

設定ファイルから検索条件を読み込むときに、エラーが発生しました。保存した設定ファイルが壊れています。

**対処**

Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

## KAKI110-E

---

不正なデータを受信しました。ソケットを切断します。

予期しないデータを受信したため、ソケットを切断します。

### 要因

Log Manager から予期しない形式のデータを受信しました。

### 対処

Log Manager および Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Manager の障害発生時の資料については、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

## KAKI111-W

---

検索を中断しますか？

次のどれかの操作が実行されました。

- 検索中に [ 中断 ] ボタンをクリックしました。
- 検索中に検索結果画面を閉じようとしてしました。
- 検索中に Log Viewer を終了しようとしてしました。

### 対処

検索を中断する場合は [ 了解 ] ボタン、検索を中断しない場合は [ 取消し ] ボタンをクリックします。

検索結果画面を閉じる場合および Log Viewer を終了する場合に、[ 取消し ] ボタンをクリックすると、検索結果画面を閉じる処理および Log Viewer の終了処理も取り消されます。

## KAKI112-E

---

ソケットが切断されました。(ホスト名)

ホスト名に示す Log Manager との接続で、予期しないタイミングでソケット切断を検知しました。

### 要因

次のどちらかの要因によって、Log Manager に接続できません。

- Log Manager との接続でソケットエラーが発生しました。
- Log Manager にすでに 16 の Log Viewer が接続しています。

### 対処

次の対処を実施します。

- Log Manager との接続でソケットエラーが発生したとき  
Log Manager が起動していることを確認します。Log Manager が起動している場合は、Log Manager および Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Manager の障害発生時の資料については、マニュアル「uCosminexus



Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

- Log Manager にすでに 16 の Log Viewer が接続しているとき  
Log Manager のマシンで、KAKG213-W メッセージが出力されているか確認します。

## KAKI113-E

---

一定時間 Log Manager から応答がありません。

Log Manager からの応答待ちでタイムアウトが発生したため、ソケットを切断します。

### 要因

Log Manager から 5 分間応答がありません。

### 対処

回線が正常であるかを調べます。

回線に障害が発生している場合は、障害を回復します。

回線が正常な場合は、Log Manager および Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Manager の障害発生時の資料については、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

## KAKI114-E

---

一定時間内に検索が終了しませんでした。

検索結果待ちでタイムアウトが発生したため、ソケットを切断します。

### 要因

Log Manager から、3 分以内に検索結果が返されませんでした。

### 対処

検索範囲を狭めてから再度検索します。再度検索しても解決しないときは、回線が正常であるかを調べます。

回線に障害が発生している場合は、障害を回復します。

回線が正常な場合は、Log Manager および Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Manager の障害発生時の資料については、マニュアル「uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド」を参照してください。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

## KAKI115-W

---

検索結果が検索結果最大数件を超えました。検索を打ち切ります。

検索結果が許容数を超えました。検索を打ち切り、これ以上の結果は表示しません。

## 5. メッセージ

### 要因

検索条件に一致するログが、検索結果最大数に示す件数を超えました。

### 対処

検索範囲を狭めるか、検索条件を絞り込んでから、再度検索します。

## KAKI116-E

---

設定の保存に失敗しました。

検索条件または接続先情報の保存に失敗しました。

### 要因

検索条件または接続先情報を設定ファイルに保存するときにエラーが発生しました。

### 対処

次のフォルダおよびフォルダ内のすべてのファイルに、Log Viewer を実行するユーザーの読み込み権限および書き込み権限があることを確認します。

*Log Viewer* のインストール先フォルダ %conf

注 *Log Viewer* のインストール先フォルダは、使用する環境によって異なります。

## KAKI117-E

---

メモリ不足が発生しました。

検索結果を表示するためのメモリが確保できないため、検索を中断します。

### 要因

検索結果を表示するために必要なメモリが確保できませんでした。

### 対処

複数の検索結果画面を開いている場合は、幾つかの検索結果画面を閉じてから、再度検索します。再度検索しても同じメッセージが出力される場合は、Log Viewer の資料を採取してから、保守員に連絡します。Log Viewer の障害発生時の資料については、「4.2 トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法」を参照してください。

## KAKI118-E

---

トレースファイルの初期化に失敗しました。(トレースファイル名)

トレースファイル名に示すトレースファイルの初期化に失敗したため、Log Viewer の起動に失敗しました。

### 要因

トレースファイル名に示すトレースファイルの初期化に失敗しました。

### 対処

次のフォルダに書き込み権限があることを確認します。

*Log Viewer* のインストール先フォルダ %trace

注 *Log Viewer* のインストール先フォルダは、使用する環境によって異なります。

す。

### KAKI119-E

---

ライブラリのロードに失敗しました。(ライブラリのファイル名)

必要なライブラリのロードに失敗したため、Log Viewer の起動に失敗しました。

要因

ライブラリのファイル名に示すライブラリが正しくインストールされていません。

対処

ライブラリのファイル名に示すライブラリが Log Viewer のインストール先フォルダに正しく格納されているか確認します。正しく格納されていない場合は、Log Viewer を再インストールします。

### KAKI120-W

---

invalid parameter. (ファイル名, パラメーター名)

ファイル名に示すファイルについて、パラメーター名に示すパラメーターに指定できない値が記述されています。規定値で起動します。

要因

パラメーター名に示すパラメーターの値が誤っています。

対処

ファイル名に示すファイルについて、パラメーター名に示すパラメーターの値を見直します。必要であれば、Log Viewer を再起動します。

### KAKI121-W

---

別の Log Viewer により設定が変更されています。上書きしますか？上書きした場合、別の Log Viewer によって変更された内容は失われます。

Log Viewer の起動時に読み込んだ設定ファイルが、別の Log Viewer によって更新されています。現在起動している Log Viewer の設定で、設定ファイルを上書きしてもよいかを確認してください。

上書きすると、別の Log Viewer で行なわれた設定は破棄され、現在起動している Log Viewer の設定で更新されます。

要因

Log Viewer の起動後に、別の Log Viewer によって設定ファイルが更新されています。

対処

現在起動している Log Viewer の設定で、設定ファイル上書きをしてもよいかを確認します。上書きする場合は、[はい]を選択してください。[いいえ]を選択すると、KAKI122-W メッセージが出力され、現在起動している Log Viewer の設定は保存されません。

## KAKI122-W

---

設定の再読み込みを実行しますか？再読み込みした場合、変更した内容は失われます。

起動時に読み込んだ設定ファイルが別の Log Viewer によって更新されているときに、KAKI121-W メッセージに対して [いいえ] (上書きしない) が選択されました。別の Log Viewer によって更新された設定を再度読み込んでよいかを確認してください。設定を読み込むと、現在起動している Log Viewer で行なった設定は破棄されます。

### 要因

KAKI121-W メッセージに対して [いいえ] を選択したため、起動している Log Viewer での設定内容は保存されていません。

### 対処

起動している Log Viewer で設定した内容を破棄して、別の Log Viewer の設定を読み込んでよいかを確認します。読み込む場合は、[はい] を選択してください。起動している Log Viewer の設定を保存する場合は、[いいえ] を選択したあと、設定を保存してください。

## KAKI123-W

---

Log Manager によりソケットが切断されました。(ホスト名)

接続している Log Manager によってソケットが切断されました。

### 要因

次の要因が考えられます。

- ホスト名に示す Log Manager が停止したため、ソケットが切断されました。
- ホスト名に示す Log Manager でエラーが検出されたため、ソケットが切断されました。

### 対処

Log Manager を管理するユーザーに、Log Manager のマシンの syslog からソケットが切断された要因を調査し、要因を取り除くことを依頼します。要因が取り除かれたあと、再度検索します。

## KAKI124-E

---

ログ種別を選択してください。

ログ種別を選択しないで、検索または検索条件の登録を実行しようとした。

### 要因

ログ種別が選択されていません。

### 対処

ログ種別を選択してから、検索または検索条件の登録をします。

## KAKI201-E

---

現在実行中の検索が終了するまで新しい検索を実行することはできません。

検索中に別の検索を実行しようとした。

要因

同時に複数の検索を実行しようとした。

対処

現在実行している検索が終了するのを待ってから、次の検索を実行します。

### **KAKI203-E**

---

これ以上新規検索をすることができません。検索ウィンドウの表示上限は 32 です。

検索結果画面を 33 個以上表示しようとした。

要因

検索結果画面は 33 個以上表示できません。

対処

表示している検索結果画面を閉じてから検索するか、すでに表示している [ 検索条件 ] 画面を使用して検索します。

### **KAKI204-E**

---

現在実行中の検索が終了するまで蓄積範囲の確認をすることができません。

検索の実行中に [ ログ蓄積範囲 ] 画面を表示しようとした。

要因

検索の実行中は [ ログ蓄積範囲 ] 画面を表示できません。

対処

検索が終了してから、蓄積範囲を確認します。

### **KAKI301-E**

---

検索条件が設定されていません。

検索を実行していない状態で、検索条件を確認しようとした。

要因

検索を実行していない状態では、検索条件を確認できません。

対処

検索を実行していないため、検索条件の確認は不要です。

### **KAKI302-E**

---

ファイルの保存に失敗しました。

検索結果の保存に失敗しました。

要因

次のどちらかの要因によって、ファイルを保存できません。

- 検索結果のファイルを保存するフォルダ、または上書きするファイルに対する書き込み権限がありません。

## 5. メッセージ

- ほかのアプリケーションでファイルを使用しています。

### 対処

次の対処を実施します。

- 検索結果のファイルを保存するフォルダに書き込み権限があるかを調べます。また、検索結果をすでにあるファイルに上書き保存する場合は、ファイルに書き込み権限があるかを調べます。権限がない場合は、設定してください。
- ほかのアプリケーションでファイルが使用されていないかを確認します。ほかのアプリケーションでファイルを使用している場合は、ほかのアプリケーションでのファイルの使用を中止したあと、ファイルを保存します。

## **KAKI303-E**

---

対象の検索ウィンドウでは検索が未実行です。保存は実行できません。

検索を実行していない状態で、検索結果を保存しようとしてしました。

### 要因

検索を実行していない状態では、検索結果を保存できません。

### 対処

検索を実行してから、検索結果を保存します。

## **KAKI401-E**

---

接続先情報名を入力してください。

接続先情報名が入力されていないため、接続先情報を登録できません。

### 要因

接続先情報名が入力されていません。接続先情報の登録には、接続先情報名の入力が必要です。

### 対処

接続先情報名を入力してから、接続先情報を登録します。

## **KAKI403-E**

---

ホスト名に入力できない文字が含まれています。

ホスト名に使用できない文字が入力されました。

### 要因

ホスト名に使用できない文字が入力されました。

### 対処

ホスト名に使用できる文字を入力してから登録します。  
使用できる文字は、英大文字、英小文字および「.(ピリオド)」です。

## **KAKI405-E**

---

ホスト名を入力してください。

ホスト名または IP アドレスが入力されていません。

**要因**

ホスト名または IP アドレスが入力されていません。接続先情報の登録には、ホスト名または IP アドレスの入力が必須です。

**対処**

ホスト名または IP アドレスを入力してから登録します。

**KAKI406-E**

---

ポート番号が不正です。入力可能範囲は 1024 ~ 65535 です。

ポート番号に範囲外の値が入力されています。

**要因**

ポート番号に範囲外の値が入力されました。

**対処**

範囲内の値を入力します。

**KAKI407-E**

---

接続先情報名 *接続先情報名* はすでに登録されています。

*接続先情報名* に示す接続先情報名はすでに登録されています。

**要因**

同じ接続先情報名がすでに登録されています。

**対処**

登録されていない接続先情報名を指定します。

**KAKI408-W**

---

ホスト名 *ホスト名* は接続先情報名 *接続先情報名* ですすでに登録されています。追加しますか？

*ホスト名* に示すホスト名が設定された *接続先情報名* に示す接続先情報は、すでに登録されています。

**要因**

*ホスト名* に示すホスト名と同じホスト名の接続先情報があります。

**対処**

接続先情報を登録する場合は [ 了解 ] ボタン、接続先情報を登録しない場合は [ 取消し ] ボタンをクリックします。

**KAKI409-E**

---

最大登録数を超過しています。

接続先情報を 256 個以上登録しようとしています。

**要因**

接続先情報が 255 個登録されています。

**対処**

## 5. メッセージ

不要な接続先情報が登録されていないかを確認します。

### **KAKI410-E**

---

ポート番号を入力してください。

ポート番号が入力されていません。

要因

ポート番号が入力されていません。接続先情報の登録には、ポート番号の入力が必須です。

対処

ポート番号を入力してから、接続先情報を登録します。

### **KAKI501-E**

---

検索条件名を入力してください。

検索条件名が入力されていません。

要因

検索条件名が入力されていません。検索条件の登録には、検索条件名の入力が必須です。

対処

検索条件名を入力してから、検索条件を登録します。

### **KAKI506-E**

---

検索条件名 *検索条件名* はすでに登録されています。

*検索条件名* に示す検索条件名がすでに登録されています。

要因

同じ検索条件名がすでに登録されています。

対処

同じ検索条件名の検索条件を確認します。

### **KAKI507-E**

---

最大登録数を超過しています。

検索条件を 4,096 個以上登録しようとしています。

要因

検索条件が 4,095 個登録されています。

対処

不要な検索条件が登録されていないかを確認します。

### **KAKI509-E**

---

{出力元 | メッセージ ID | メッセージテキスト} の指定が正規表現ではありません。



[出力元]テキストボックス,[メッセージID]テキストボックス,または[メッセージテキスト]テキストボックスに入力した文字列が正規表現ではありません。

要因

[出力元]テキストボックス,[メッセージID]テキストボックス,または[メッセージテキスト]テキストボックスに入力した文字列が,正規表現として正しい形式ではありません。

対処

入力した文字列を確認してください。使用できる正規表現については、「付録 A 正規表現」を参照してください。

### **KAKI606-E**

---

検索開始年の値が不正です。入力可能範囲は 2000 ~ 9999 です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索開始の年に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

### **KAKI607-E**

---

検索開始月の値が不正です。入力可能範囲は 1 ~ 12 です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索開始の月に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

### **KAKI608-E**

---

検索開始日の値が不正です。入力可能範囲は 1 ~ 指定検索開始年月の最終日です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索開始の日に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

### **KAKI609-E**

---

検索開始時の値が不正です。入力可能範囲は 0 ~ 23 です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

## 5. メッセージ

検索開始の時に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

### **KAKI610-E**

---

検索開始分の値が不正です。入力可能範囲は0～59です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索開始の分に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

### **KAKI611-E**

---

検索開始秒の値が不正です。入力可能範囲は0～59です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索開始の秒に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

### **KAKI612-E**

---

検索開始日時が検索終了日時よりあとになっています。

検索開始日時が検索終了日時よりもあとになっています。

要因

検索開始日時が検索終了日時よりもあとになっています。検索開始日時には、検索終了日時と同じか、検索終了日時よりも前の日時だけが指定できます。

対処

検索開始日時または検索終了日時を修正してから検索します。

### **KAKI613-E**

---

接続先が指定されていません。

接続先を指定しないで検索を実行しようとした。

要因

接続先情報が指定されていません。

対処

接続先情報を指定してから検索します。

**KAKI614-E**

---

検索終了年の値が不正です。入力可能範囲は 2000 ~ 9999 です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索終了の年に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

**KAKI615-E**

---

検索終了月の値が不正です。入力可能範囲は 1 ~ 12 です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索終了の月に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

**KAKI616-E**

---

検索終了日の値が不正です。入力可能範囲は 1 ~ 指定検索終了年月の最終日です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索終了の日に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

**KAKI617-E**

---

検索終了時の値が不正です。入力可能範囲は 0 ~ 23 です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索終了の時に範囲外の値が入力されました。

対処

範囲内の値を入力してから検索します。

**KAKI618-E**

---

検索終了分の値が不正です。入力可能範囲は 0 ~ 59 です。

検索範囲の指定が不正です。

要因

検索終了の分に範囲外の値が入力されました。

対処

## 5. メッセージ

範囲内の値を入力してから検索します。

### KAKI619-E

---

検索終了秒の値が不正です。入力可能範囲は0 ~ 59 です。

検索範囲の指定が不正です。

#### 要因

検索終了の秒に範囲外の値が入力されました。

#### 対処

範囲内の値を入力してから検索します。

### KAKI620-E

---

{出力元 | メッセージ ID | メッセージテキスト} の指定が正規表現ではありません。

[出力元] テキストボックス, [メッセージ ID] テキストボックス, または [メッセージテキスト] テキストボックスに入力した文字列が正規表現ではありません。

#### 要因

[出力元] テキストボックス, [メッセージ ID] テキストボックス, または [メッセージテキスト] テキストボックスに入力した文字列が, 正規表現として正しい形式ではありません。

#### 対処

入力した文字列を確認してください。使用できる正規表現については、「付録 A 正規表現」を参照してください。

### KAKI701-E

---

ホスト名への接続に失敗しました。

ホスト名に示す Log Manager への接続に失敗しました。

#### 要因

次の要因が考えられます。

- ホスト名に示すマシンがありません。
- ホスト名に示す Log Manager が起動していません。
- ホスト名に示す Log Manager へ接続するためのポート番号が誤っています。
- ホスト名に示す接続先までの通信が阻害されています。

#### 対処

要因に応じて, 次のことを確認します。

- 接続先のマシンが稼働していることを確認します。
- 接続先のマシンで Log Manager が起動していることを確認します。
- 接続先のポート番号が正しいことを確認します。
- 接続先のマシンまでの通信路に, 通信を阻害する要因がないことを確認します。

**KAKI702-E**

---

ユーザ ID を入力してください。

ユーザ ID が入力されていません。

**要因**

ユーザ ID が入力されていません。Log Manager と接続するには、ユーザ ID の入力が必須です。

**対処**

ユーザ ID を入力してから、認証を実行します。

**KAKI703-E**

---

パスワードを入力してください。

パスワードが入力されていません。

**要因**

パスワードが入力されていません。Log Manager と接続するには、パスワードの入力が必須です。

**対処**

パスワードを入力してから、認証を実行します。

**KAKI704-E**

---

ホスト名 ( *ホスト名* ) の名前解決ができませんでした。

*ホスト名* に示すホスト名の IP アドレスが取得できませんでした。

**要因**

接続先に指定されたホスト名が名前解決できません。

**対処**

次のどれかで、*ホスト名* に示すホスト名が名前解決できることを確認してください。

- DNS の設定
- hosts ファイルの内容
- NetBIOS over TCP/IP の設定

**KAKI707-E**

---

検索中に Log Manager でエラーが発生しました。

検索中に Log Manager でエラーが発生しました。検索を中断します。

**要因**

Log Manager でエラーが発生しました。

**対処**

Log Manager を管理するユーザーに、Log Manager の稼働環境の syslog を確認し、エラー要因を取り除くことを依頼してください。

## **KAKI900-E**

---

jre が未インストールまたは非サポートのバージョンです。

必要な JRE がインストールされていないか、未サポートの JRE がインストールされています。

### **要因**

必要な JRE がインストールされていないか、未サポートの JRE がインストールされています。

### **対処**

Log Viewer がサポートしているバージョンの JRE をインストールします。Log Viewer がサポートしている JRE のバージョンについては、Log Viewer のリリースノートで確認してください。

# 付録

---

付録 A 正規表現

---

付録 B このマニュアルの参考情報

---

付録 C 用語解説

---

## 付録 A 正規表現

[ 検索条件 ] 画面の [ 出力元 ] テキストボックス, [ メッセージ ID ] テキストボックスおよび [ メッセージテキスト ] テキストボックスには正規表現を使用できます。

使用できる正規表現の構文, および指定例について説明します。

### 付録 A.1 正規表現の構文

Log Viewer の検索条件には, `java.util.regex` パッケージで使用できる正規表現を指定します。`java.util.regex` パッケージの詳細は, Java™ 2 Platform, Standard Edition の対象バージョンの API 仕様を参照してください。

ここでは, `java.util.regex` パッケージで使用できる主な正規表現の構文について説明します。正規表現および数量子の主な構文を次の表に示します。

表 A-1 正規表現の主な構文

構文	説明
<code>abc</code>	「abc」を検索します。
<code>¥¥</code>	バックスラッシュ文字を検索します。
<code>[abc]</code>	「a」, 「b」または「c」を検索します。
<code>[^abc]</code>	「a」, 「b」および「c」以外の文字を検索します。
<code>[a-zA-Z]</code>	「a」 ~ 「z」または「A」 ~ 「Z」を検索します。
<code>[a-d[m·p]]</code>	「a」 ~ 「d」または「m」 ~ 「p」を検索します。 [a·dm·p] と指定した場合と同じです。
<code>[a-z&amp;&amp;[def]]</code>	「d」, 「e」または「f」を検索します。
<code>[a-z&amp;&amp;[^bc]]</code>	「b」および「c」を除いた「a」 ~ 「z」を検索します。
<code>[a-z&amp;&amp;[^m·p]]</code>	「m」 ~ 「p」を除いた「a」 ~ 「z」を検索します。
<code>¥t</code>	タブ文字を検索します。
<code>¥n</code>	改行を検索します。
<code>¥r</code>	キャリッジリターン文字を検索します。
<code>.</code>	すべての文字を検索します。
<code>¥d</code>	数字を検索します。 [0-9] と指定した場合と同じです。
<code>¥D</code>	数字以外を検索します。 [^0-9] と指定した場合と同じです。
<code>¥s</code>	空白文字を検索します。 [¥t¥n¥f¥r¥x0B] と指定した場合と同じです。
<code>¥S</code>	空白文字以外を検索します。 [^¥s] と指定した場合と同じです。



構文	説明
$\wedge w$	単語構成文字を検索します。 [0-9a-zA-Z] と指定した場合と同じです。
$\W$	非単語文字を検索します。 [ $\wedge w$ ] と指定した場合と同じです。
$X Y$	X または Y を検索します。

表 A-2 数量子の主な構文

構文	説明
$X?$	X が 0 回または 1 回出現する最長の文字列を検索します。
$X^*$	X が 0 回以上出現する最長の文字列を検索します。
$X^+$	X が 1 回以上出現する最長の文字列を検索します。
$X\{n\}$	X が n 回出現する最長の文字列を検索します。
$X\{n,\}$	X が n 回以上出現する最長の文字列を検索します。
$X\{n,m\}$	X が n 回以上, m 回以下出現する最長の文字列を検索します。
$X??$	X が 0 回または 1 回出現する最短の文字列を検索します。
$X*?$	X が 0 回以上出現する最短の文字列を検索します。
$X+?$	X が 1 回以上出現する最短の文字列を検索します。
$X\{n\}?$	X が n 回出現する最短の文字列を検索します。
$X\{n,\}?$	X が n 回以上出現する最短の文字列を検索します。
$X\{n,m\}?$	X が n 回以上, m 回以下出現する最短の文字列を検索します。
$X?+$	X が 0 回または 1 回出現するできるだけ長い文字列を検索します。
$X*+$	X が 0 回以上出現するできるだけ長い文字列を検索します。
$X++$	X が 1 回以上出現するできるだけ長い文字列を検索します。
$X\{n\}+$	X が n 回出現するできるだけ長い文字列を検索します。
$X\{n,\}+$	X が n 回以上出現するできるだけ長い文字列を検索します。
$X\{n,m\}+$	X が n 回以上, m 回以下出現するできるだけ長い文字列を検索します。

## 付録 A.2 正規表現の指定例

例題を基に正規表現の指定例について、次の表で説明します。

表 A-3 正規表現の指定例

例題	正規表現の指定例
「ABC」が含まれている文字列を検索したい。	<code>.*ABC.*</code>
「ABC」または「abc」が含まれている文字列を検索したい。	<code>.*ABC.* .*abc.*</code>

例題	正規表現の指定例
「KAKC0011-E」,「KAKC0012-E」のように, 「KAKC001」までが同じで、次の1文字が数字である メッセージIDを検索したい。	KAKC001\d.*
「KAKC100」までが同じで、最後の数字1文字が2~ 7のメッセージIDを検索したい。	KAKC100[2-7].*
「KAKC1000-」に続く文字が「I」,「W」または「E」 のメッセージIDを検索したい。	KAKC1000-[I W E]
「可変部は」のあとに、0文字以上の任意の文字または 文字列が続く文字列を検索したい。	.*可変部は.*
「可変部は」のあとに「AAA」または「BBB」だけが 続く文字列を検索したい。	可変部は [AAA BBB]
先頭が3文字の英大文字で、「1234-E」が続くメッ セージIDを検索したい。	[A-Z]{3}1234-E
0文字以上の任意のメッセージIDまたは文字列を検索 したい。	.*
1文字以上の任意のメッセージIDまたは文字列を検索 したい。	.+
先頭が「KAKC1000」で、以降に0文字以上の任意の 文字列が続く任意のメッセージIDまたは文字列を検 索したい。	KAKC1000.*
先頭が「KAKC1000」で、以降に1文字以上の任意の 文字列が続く任意のメッセージIDまたは文字列を検 索したい。	KAKC1000.+

## 付録 B このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

### 付録 B.1 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。

uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア 導入・運用ガイド  
(3020-3-R01)

BJEX ログビューアの機能，導入，運用について説明しています。

### 付録 B.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルでは，製品名を次のように表記しています。

表記		製品名
AIX		AIX 5L V5.3
		AIX V6.1
BJEX		uCosminexus Batch Job Execution Server
BJEX ログビューア	Log Agent	uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Agent
	Log Manager	uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Manager
	Log Viewer	uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Viewer
HP-UX		HP-UX 11i V2 ( IPF )
		HP-UX 11i V3 ( IPF )
IPF		Itanium(R) Processor Family
Linux		Red Hat Enterprise Linux(R) 5 ( x86 )
		Red Hat Enterprise Linux(R) 5 ( AMD/Intel64 )
		Red Hat Enterprise Linux(R) 5 Advanced Platform ( x86 )
		Red Hat Enterprise Linux(R) 5 Advanced Platform ( AMD/Intel64 )

AIX , HP-UX , Linux を総称して UNIX と表記することがあります。

### 付録 B.3 英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
DNS	Domain Name System
DPI	Dot Per Inch
FQDN	Fully Qualified Domain Name
JRE	Java™ Runtime Environment
NetBIOS	Network Basic Input Output System
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
UTF-8	8-bit UCS Transformation Format

---

## 付録 C 用語解説

このマニュアルで使用する用語について説明します。

### (英字)

---

#### BJEX (uCosminexus Batch Job Execution Server)

一定期間集めたデータのバッチ処理を実行するための製品です。BJEX ログビューアの前提製品です。

#### BJEX の実行ログ

BJEX が出力する、バッチジョブの実行履歴が記録されたログファイルです。

#### BJEX ログビューア

バッチジョブ実行システム全体の実行ログおよび OS のシステムログ (syslog) のログ情報を一括で管理し、ログ情報を検索するための GUI を提供する製品です。

#### FQDN 形式

ドメイン名を省略しないで指定した形式のことです。

Log Manager への接続先情報に指定するホスト名は、FQDN 形式 (ドメイン名とホスト名をピリオドでつないだ xxx.yyy.zzz.co.jp の形式)、FQDN 形式の xxx の部分だけの形式、または IP アドレスの形式 (123.123.123.123 の形式) で指定する必要があります。

#### Log Agent (uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Agent)

バッチジョブ実行システムの各マシンで、BJEX の実行ログおよび OS のシステムログ (syslog) のログ情報を収集するプログラムです。Log Manager からの要求に応じて、ログ情報をログ収集サーバに転送します。

#### Log Manager (uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Manager)

ログ収集サーバで、バッチジョブ実行サーバの各マシンから収集されたログ情報を一括で管理するプログラムです。

#### Log Viewer (uCosminexus Batch Job Execution Server ログビューア - Viewer)

ログ情報を検索するための GUI を提供するプログラムです。オペレーターがログ情報を検索する際に使用します。

#### syslog (システムログ)

UNIX が出力するシステムログのことです。

### (カ行)

---

#### 検索結果ファイル

検索結果画面に表示されたメッセージの検索結果を保存したファイルです。

メッセージの検索結果のほかに、検索実行日時、検索条件などが出力されます。

## 検索条件名

ログの検索時に使用する検索条件に付けた識別名です。

よく使う検索条件は名前を付けて登録しておくことで、ログの検索時に登録済みの検索条件を使用して、効率よく検索できます。

検索条件として、検索条件名以外に次の項目を登録できます。

- 出力元
- メッセージ ID
- メッセージテキスト

検索条件を登録する操作については、「2.5.1 検索条件の登録」を参照してください。

## (サ行)

---

### システムログ

syslog の説明を参照してください。

### 正規表現

記号や文字を組み合わせることで、目的のキーワードをパターンで表現する方法です。

Log Viewer では、ログの検索条件として、ログの出力元、メッセージ ID、またはメッセージテキストに、正規表現を用いることができます。検索条件に正規表現を指定する例については、「付録 A 正規表現」を参照してください。

また、BJEX ログビューアでは、java.util.regex パッケージで使用できる正規表現を使用できます。java.util.regex パッケージの詳細は、Java™ 2 Platform, Standard Edition の対象バージョンの API 仕様を参照してください。

### 接続先情報

ログの検索時、Log Manager への接続に使用する情報です。ログの検索を実行する前に、[ 接続先登録 ] 画面で、接続先情報として次の項目を登録しておく必要があります。

- 接続先の Log Manager のホスト名
- 接続先の Log Manager のポート番号

接続先情報の登録については、「2.3 Log Manager への接続先情報を登録、変更、削除する」を参照してください。

### 接続先情報名

接続先情報を識別するための名前です。

ログの検索時、[ 検索条件 ] 画面で、接続する Log Manager の情報が登録されている接続先情報を選択します。

## (タ行)

---

### トレースファイル

障害の原因を特定するために必要な情報が出力されるファイルです。

## ( 八行 )

---

### バッチジョブ実行サーバ

一定期間集めたデータのバッチ処理を実行するサーバです。バッチジョブ実行システムのログ情報を収集するために Log Agent を配置します。

### バッチジョブ実行システム

バッチジョブ実行サーバや運用管理サーバなどで構成される、バッチ処理を実行するためのシステム全体を指します。

## ( マ行 )

---

### マシン

Log Manager および Log Agent が稼働する UNIX または Windows のシステムを示します。

## ( ラ行 )

---

### ログ収集サーバ

Log Manager がインストールされたサーバです。Log Agent が収集したログを蓄積、管理します。

### ログ収集ディレクトリ

ログ収集サーバにあるログを蓄積、管理するディレクトリです。

### ログの蓄積範囲

Log Manager のマシンに蓄積されているログが、いつ収集されたのかを示す期間です。

ログの検索後、[ ログの蓄積範囲 ] 画面で、接続先に指定した Log Manager のマシンに蓄積されたログの収集期間を確認できます。

蓄積範囲の参照については、「2.4.7 ログの蓄積範囲の確認」を参照してください。





---

# 索引

---

## B

BJEX〔用語解説〕 91  
BJEX の実行ログ〔用語解説〕 91  
BJEX ログビューア〔用語解説〕 91  
BJEX ログビューアとは 2  
BJEX ログビューアの全体像 2

---

## F

FQDN 形式〔用語解説〕 91

---

## K

KAKI メッセージ 62

---

## L

Log Agent 3  
Log Agent〔用語解説〕 91  
Log Manager 3  
Log Manager〔用語解説〕 91  
Log Manager の調査資料〔トラブル発生時の資料〕 55  
Log Manager への接続先情報を登録，変更，削除する 11  
Log Viewer 3  
Log Viewer〔用語解説〕 91  
Log Viewer の異常終了〔トラブル〕 53  
Log Viewer の起動 10  
Log Viewer の機能 4  
Log Viewer の検索結果の不正〔トラブル〕 53  
Log Viewer のスローダウン〔トラブル〕 53  
Log Viewer の設定ファイル〔トラブル発生時の資料〕 54  
Log Viewer の操作一覧 9  
Log Viewer の操作の流れ 8  
Log Viewer のハングアップ〔トラブル〕 53  
Log Viewer の複数起動〔機能〕 5  
Log Viewer を起動する 10  
Log Viewer を終了する 28

---

## S

syslog〔用語解説〕 91

---

## あ

アプリケーションログ〔トラブル発生時の資料〕 54

---

## い

イベントログ〔トラブル発生時の資料〕 54

---

## か

概要 1

---

## け

検索〔ログの検索〕 15  
検索結果画面 41  
検索結果画面の内容〔トラブル発生時の資料〕 54  
検索結果のファイル保存〔機能〕 4  
検索結果の保存 19  
検索結果ファイル 19  
検索結果ファイル〔トラブル発生時の資料〕 55  
検索結果ファイル〔用語解説〕 91  
検索結果ファイルの参照 19  
[ 検索条件確認 ] 画面 44  
[ 検索条件 ] 画面 37  
[ 検索条件設定 ] 画面 47  
[ 検索条件登録 ] 画面 49  
検索条件の確認 18  
検索条件の削除 26  
検索条件の指定によって必要なログ情報だけを取得可能〔特長〕 3  
検索条件の登録 23  
検索条件の変更 24  
検索条件名〔用語解説〕 92  
検索条件を変更して再検索 18  
検索の中断 17

## し

---

システムの稼働状況を把握 3  
システムログ〔トラブル発生時の資料〕 54  
システムログ〔用語解説〕 92

## せ

---

正規表現 86  
正規表現〔用語解説〕 92  
正規表現の構文 86  
正規表現の指定例 87  
接続先情報 11  
接続先情報〔用語解説〕 92  
〔接続先情報設定〕画面 34  
接続先情報の削除 13  
接続先情報の登録 11  
接続先情報の変更 12  
接続先情報名〔用語解説〕 92  
〔接続先登録〕画面 36

## そ

---

操作 7  
操作一覧 9  
操作時の注意事項 29  
操作に使用する画面 31  
操作の前に 8

## と

---

特長 3  
トラブルシューティング 51  
トラブル発生時に採取が必要な資料および採取方法 53  
トラブル発生時の対処の流れ 52  
トレースファイル〔トラブル発生時の資料〕 54  
トレースファイル〔用語解説〕 92

## に

---

〔認証〕画面 40

## は

---

バッチジョブ実行サーバ〔用語解説〕 93  
バッチジョブ実行システム〔用語解説〕 93  
バッチジョブの実行状況を確認 3

## ま

---

マシン〔用語解説〕 93

## め

---

メイン画面 32  
メッセージ 57  
メッセージ一覧 62  
メッセージダイアログ〔トラブル発生時の資料〕 54  
メッセージの記載形式 58  
メッセージの出力〔トラブル〕 53  
メッセージの出力形式 58  
メッセージの出力先一覧 59

## よ

---

用語解説 91  
よく使う検索条件の登録〔機能〕 5  
よく使う検索条件を登録, 変更, 削除する 23

## ろ

---

ログ収集サーバ〔用語解説〕 93  
ログ収集ディレクトリ〔用語解説〕 93  
ログ情報の一括管理によって情報収集の負荷を軽減〔特長〕 3  
〔ログ蓄積範囲〕画面 45  
ログに出力されたメッセージの検索〔機能〕 4  
ログの蓄積範囲〔用語解説〕 93  
ログの蓄積範囲の確認 21  
ログを検索する 15